

二本松市 子どもの生活アンケート 調査結果報告書

令和6年9月
福島県 二本松市

目 次

第1章 調査の概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 調査票の配布と回収状況.....	3
4 報告書の見方について.....	4
5 調査対象者の属性・家族状況.....	4
(1) 児童・生徒の性別.....	4
(2) 児童・生徒の学年.....	4
(3) 居住地区.....	5
(4) 同居家族.....	5
6 調査結果からみた現状と課題.....	6
第2章 調査結果.....	11
1 ふだんの生活について.....	11
(1) 学校終了後や休日に過ごす場所.....	11
(2) あったらいいと思う居場所.....	13
2 勉強や成績のことについて.....	15
(1) 授業に対する理解度.....	15
(2) 学校の授業以外のふだんの勉強状況.....	17
3 進学への考えについて.....	19
(1) 将来の進学への考え（理想と現実との比較）.....	19
(2) 将来の進学が、理想と現実で異なる理由.....	22
4 普段の生活状況について.....	24
(1) 悩みや心配など、相談したいこと.....	24
(2) 相談相手.....	26
(3) 普段の生活状況.....	28
(4) 生活の満足度.....	31
5 支援の利用状況について.....	32

(1) 支援の利用状況.....	32
6 家族のお世話の状況について.....	35
(1) 支援や世話をしている家族.....	35
(2) 行っている世話の内容.....	36
(3) 世話をしていることで経験したこと.....	37
(4) 世話をしている家族についての相談.....	38
(5) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	39
(6) ヤングケアラーの該当状況.....	40
7 将来の夢やイメージについて.....	41
(1) 自身の思いや気持ち.....	41
(2) 将来の夢の有無.....	44
(3) 将来の夢や目標をかなえるため、大人に一番してほしいこと.....	45
第3章 自由意見.....	47
1 自由意見件数.....	47
2 意見内容（抜粋）.....	47
第4章 資料.....	51
1 調査票（小学5～6年生）.....	51

第1章

調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

二本松市では「子ども・子育て支援法」に基づき、5か年を計画期間とした「二本松市子ども・子育て支援事業計画」の第一期を平成27年3月に策定、第二期を令和2年3月に策定し、一人ひとりの子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して事業を推進しています。

今回の調査は、令和7年度から令和11年度を計画期間とする「二本松市第三期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、子どもの生活実態や将来のことなどの課題を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の設計

調査の種類ごとの件数および調査期間・方法は、以下のとおりです。

【調査対象者及び調査の実施方法】

① 子どもの生活アンケート(小学5・6年生用)	
調査対象者	令和6年4月1日現在、 二本松市に在住の小学5・6年生全児童
調査票配布数	小学5・6年生:767人
調査期間	令和6年4月24日～令和6年5月15日
調査方法	各小学校を通じて配布・回収
② 子どもの生活アンケート(中学2・3年生用)	
調査対象者	令和6年4月1日現在、 二本松市に在住の中学2・3年生全生徒
調査票配布数	中学2・3年生:794人
調査期間	令和6年4月24日～令和6年5月15日
調査方法	各中学校を通じて依頼状を配布・インターネットにて回答

3 調査票の配布と回収状況

調査ごとの配布・回収状況は、以下のとおりです。

【調査票の配布・回収状況】

調査対象者	配布数	有効回収数	回収率
小学5・6年生	767人	605人	78.9%
中学2・3年生	794人	349人	44.0%

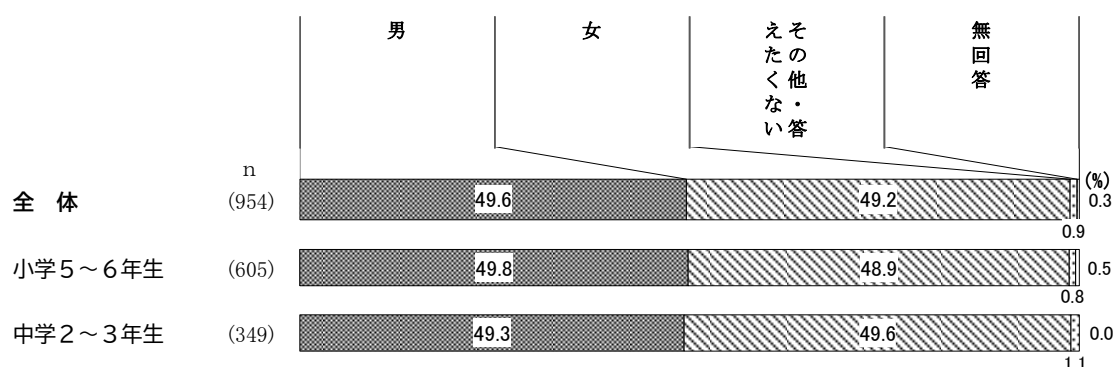
4 報告書の見方について

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

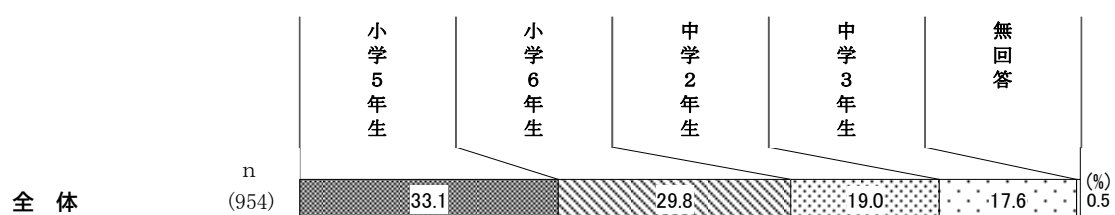
5 調査対象者の属性・家族状況

(1) 児童・生徒の性別



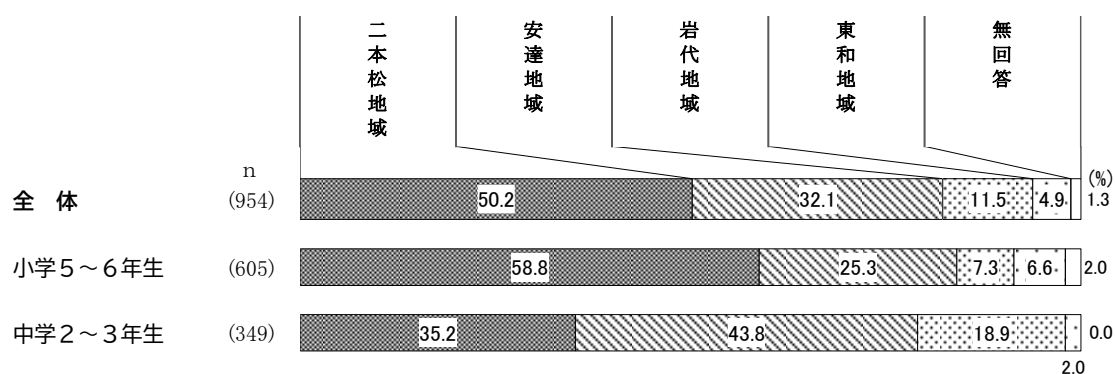
○性別は、「男」が49.6%、「女」が49.2%と、ほぼ同率となっています。小学5～6年生、中学2～3年生とも同傾向となっています。

(2) 児童・生徒の学年



○学年は、全体に対して、「小学5年生」が33.1%、「小学6年生」が29.8%、「中学2年生」が19.0%「中学3年生」が17.6%と、小学5～6年生が62.9%、中学2～3年生が36.6%となっています。

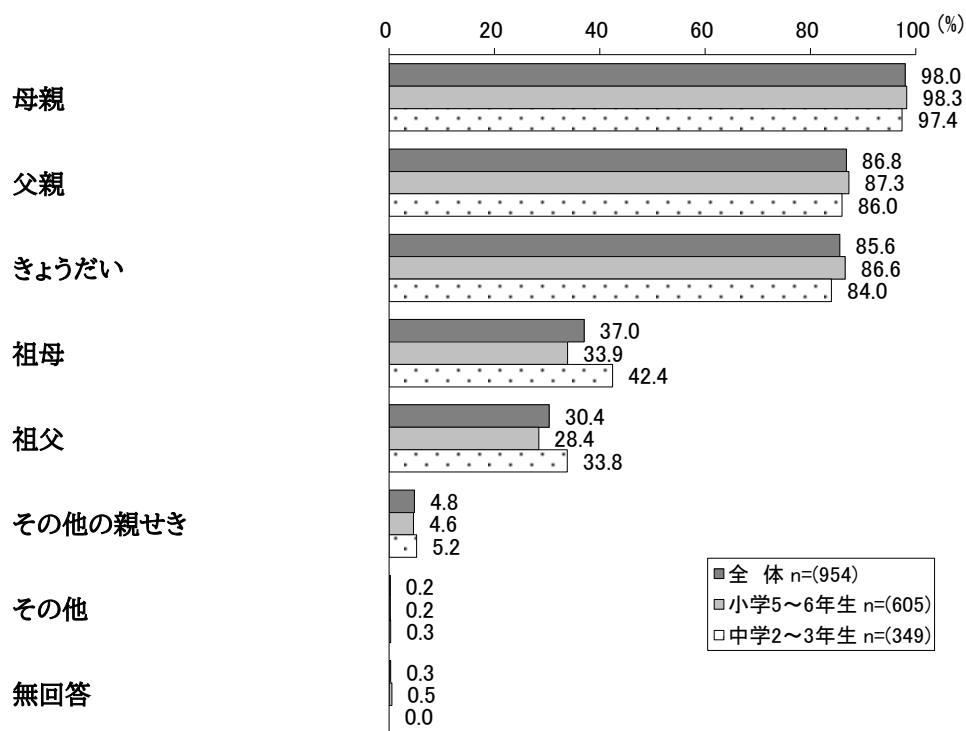
(3) 居住地区



○居住地区は、「二本松地域」が50.2%と最も多く、次いで「安達地域」が32.1%、「岩代地域」が11.5%、「東和地域」が4.9%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では「二本松地域」が58.8%と最も多く、中学2～3年生では「安達地域」が43.8%と最も多くなっています。

(4) 同居家族



○同居家族は、「母親」が98.0%と最も多く、次いで「父親」(86.8%)、「きょうだい」(85.6%)、「祖母」(37.0%)、「祖父」(30.4%) などとなっています。

○学年別にみると、中学2～3年生では「祖母」(42.4%) や「祖父」(33.8%) が小学5～6年生より多くなっています。

6 調査結果からみた現状と課題

課題の抽出にあたっては、調査結果に加えてクロス集計等のデータを基に、より詳しい分析を行いました。

結果1 友だちや仲間と過ごせる場所、一人で自由に過ごせる場所が

あったらいいと思う割合は、5割以上

○あったらいいと思う居場所は、「友だち、仲間と過ごせる場所」(66.9%)、「一人で自由に過ごせる場所」(52.7%)、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」(47.8%)などとなっています。特に、中学2～3年生では、「一人で自由に過ごせる場所」が最も多く73.6%を占めています。【問6】



以上の結果から、居場所については、自分のやりたいことを一人で自由にできる場所、友だちや仲間など複数が集まって一緒に過ごせる場所が求められています。子どもがのびのびと安心して思い思いに過ごすことができるよう、子どもの視点に立った施策が必要となります。

結果2 大学や専門学校等への進学希望は、6割以上

○授業に対する理解度は、「教科によってはわからないことがある」が43.6%となっており、中学2～3年生では49.6%と半数を占めています。【問7】

○将来の進学への考え(理想)をみると、「大学またはそれ以上」(34.1%)、「短期大学・専門学校まで」(28.2%)、「高校まで」(19.6%)などとなっています。【問9】

○将来の進学への考えの理想と現実で比較すると、「理想と現実が異なる人」は全体で42.8%、小学5～6年生で46.4%、中学2～3年生で36.4%となっています。【問9】

○将来の進学が、理想と現実で異なる理由は、「自分の成績から考えて」(40.7%)、「希望する学校や職業があるから」(26.7%)「家にお金がないと思うから」(13.0%)などとなっています。【問10】

○いま悩んでいることについては、「勉強のこと」(27.1%)、「自分の将来のこと」(21.3%)、「進路や就職のこと」(19.9%)などとなっています。中学2～3年生は、「悩みや困りごとはない」以外の項目すべてで、小学5～6年生を上回っています。【問11】



以上の結果から、6割以上の子どもが高校より上の学校に進学したいと思っている一方で、現在の成績から判断して難しいのではないかと考えています。また、勉強や自分の進路・将来のことで悩んでいることがわかります。授業でわからない箇所があると不安になることも多いため、勉強をサポートする体制や、子どもが将来を考える際の手助けとなる取組が求められています。

結果3 将来の夢が「ある」割合は、6割半

- 将来の夢が「ある」割合は66.6%、「ない」が30.3%となっています。小学5～6年生では「ある」が71.4%であるのに対し、中学2～3年生は58.2%にとどまり、「ない」が41.8%となっています。【問21】
- 将来の夢や目標をかなえるため、大人に一番してほしいことは、「夢や目標実現のためのアドバイスがほしい」(26.8%)、「夢や目標を見つける手助けをしてほしい」(20.6%)、「大人の意見を押し付けしないで、自分の考え方を聞いてほしい」(14.2%)、「夢や目標にかかるお金の援助をしてほしい」(13.0%)などとなっています。【問22】



以上の結果から、将来かなえたい夢がある子どもに対しては、夢の実現に向けて、子どもの意見を尊重したアドバイスや援助が求められています。また、将来の夢がないと回答した割合は3割となっていることから、学校や学校以外の場所で子どもたちが将来の夢や目標を見つける手助けとなる機会の創出を図るなどの取組が必要です。

結果4 「ヤングケアラー」の認知度の割合は、3割

- 「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が31.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」(30.1%)と「聞いたことはない」(37.0%)を合わせた『知らない』は67.1%となっています。中学2～3年生の約5割は知っていると回答していますが、小学5～6年生の認知度は19.8%にとどまっています。【問18】
- 実際に、支援や世話をしている家族の有無は、「お世話をしている人がいる」は4.0%となっています。小学5～6年生では、5.8%が「お世話をしている人がいる」と回答しています。【問16】
- 世話をしている人は、「母親」(47.4%)、「父親」(39.5%)、「きょうだい」(42.1%)、「祖母」(18.4%)などとなっています。【問17】



以上の結果から、「ヤングケアラー」の認知度はまだ低く、実際に家族のお世話をしている子どもの割合も低い状況です。ヤングケアラーの子どもは、本来持てるはずの自分の時間が持てず、学校生活や友人関係、進路や就職等に支障をきたすなど、人生に大きな影響を受ける可能性があります。ヤングケアラーの社会的認知度の向上を図るとともに、専門家との連携や、適切な支援につなぐための窓口の整備などが必要となっています。

第2章

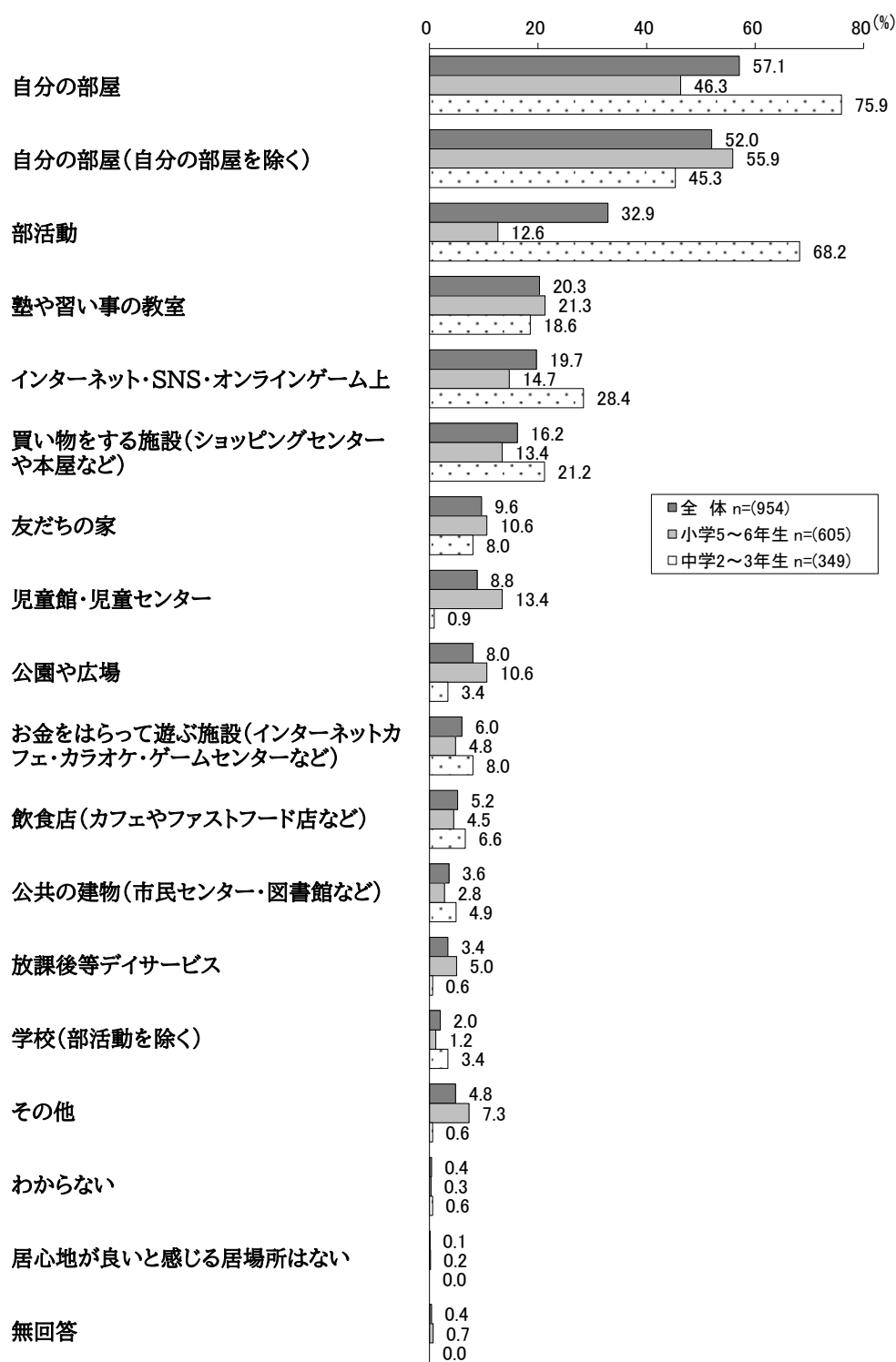
調査結果

第2章 調査結果

1 ふだんの生活について

(1) 学校終了後や休日に過ごす場所

問5 あなたは、学校が終わった後や休日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)



○学校終了後や休日に過ごす場所は、「自分の部屋」が57.1%と最も多く、次いで「自分の部屋(自分の部屋を除く)」(52.0%)、「部活動」(32.9%)、「塾や習い事の教室」(20.3%)などとなっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「自分の部屋(自分の部屋を除く)」(55.9%)や「自分の部屋」(46.3%)が多くなっています。

○中学2～3年生では、「自分の部屋」(75.9%)や「部活動」(68.2%)が7割前後を占めているほかに、「インターネット・SNS・オンラインゲーム上」が28.4%と小学5～6年生を13.7ポイント上回っています。

【不規則な生活や経済的困難の該当数別】

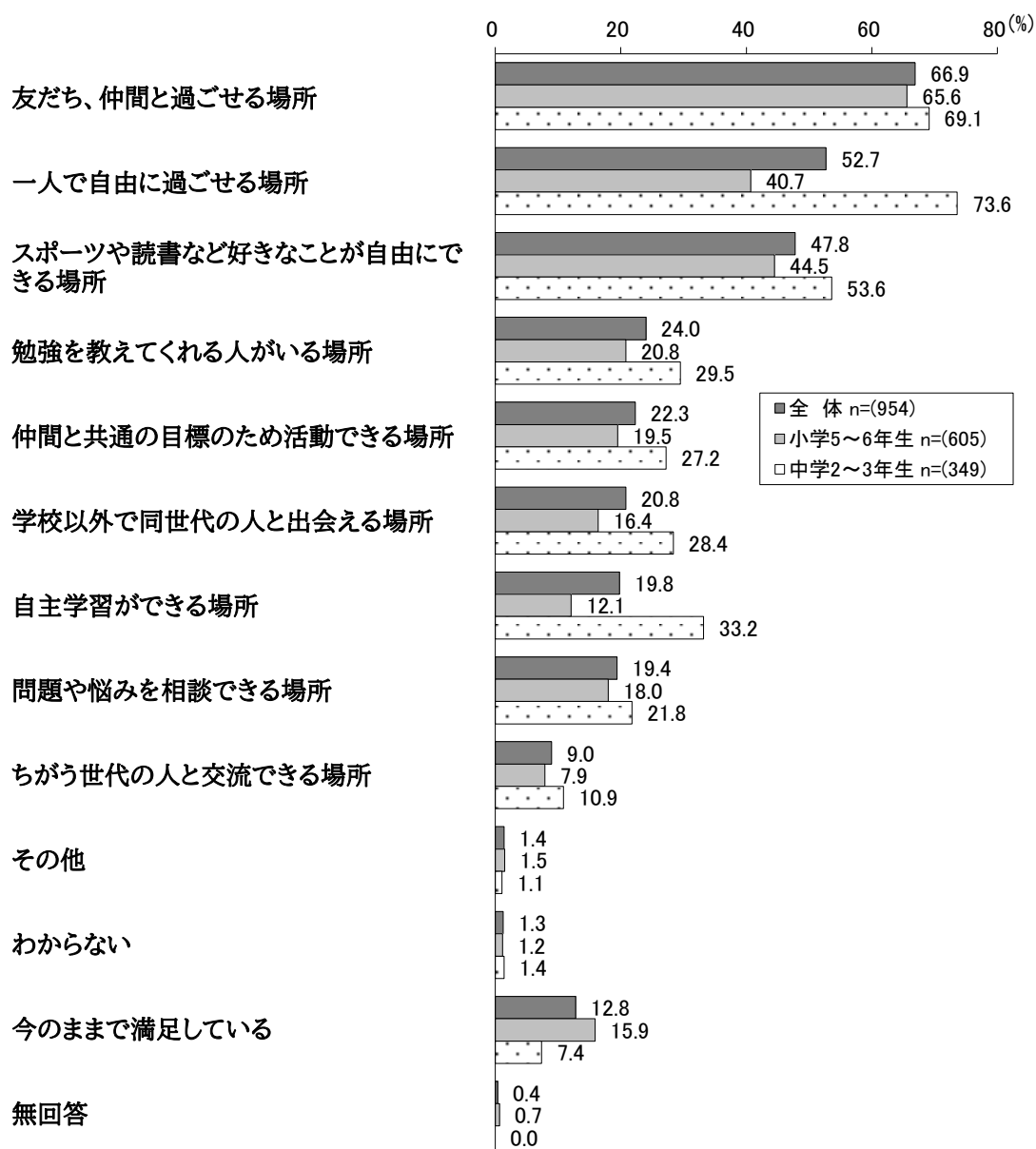
		調査数	自分の部屋	自分の部屋(自分の部屋を除く)	友だちの家	塾や習い事の教室	部活動	学校(部活動を除く)	児童館・児童センター	放課後等デイサービス	公共の建物(市民センター・図書館など)
	上段：件数 下段：%										
全 体		954 100.0	545 57.1	496 52.0	92 9.6	194 20.3	314 32.9	19 2.0	84 8.8	32 3.4	34 3.6
該 当 数 別	0 個	379 100.0	203 53.6	213 56.2	33 8.7	74 19.5	107 28.2	5 1.3	36 9.5	13 3.4	13 3.4
	1～2 個	430 100.0	250 58.1	220 51.2	43 10.0	90 20.9	153 35.6	7 1.6	39 9.1	15 3.5	17 4.0
	3～4 個	92 100.0	60 65.2	44 47.8	12 13.0	21 22.8	40 43.5	6 6.5	6 6.5	— —	2 2.2
	5 個以上	16 100.0	11 68.8	3 18.8	— —	4 25.0	10 62.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3	— —

		公園や広場	飲食店（カフェやファストフード店など）	買い物をする施設（ショッピングセンターや本屋など）	ゲームネットカフェ・カラオケ・ゲームセンターなど）	お金をはらって遊ぶ施設（インターネット・SNS・オンラインゲーム上	その他	わからない	居心地が良いと感じる居場所はない	無回答
全 体		76 8.0	50 5.2	155 16.2	57 6.0	188 19.7	46 4.8	4 0.4	1 0.1	4 0.4
該 当 数 別	0 個	25 6.6	15 4.0	60 15.8	19 5.0	58 15.3	23 6.1	1 0.3	－ －	1 0.3
	1～2 個	38 8.8	24 5.6	73 17.0	28 6.5	94 21.9	14 3.3	2 0.5	1 0.2	1 0.2
	3～4 個	6 6.5	8 8.7	16 17.4	8 8.7	27 29.3	5 5.4	1 1.1	－ －	1 1.1
	5 個以上	－ －	1 6.3	2 12.5	－ －	5 31.3	－ －	－ －	－ －	－ －

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が多いほど、「自分の部屋」「部活動」「インターネット・SNS・オンラインゲーム上」が多くなっています。

(2) あったらいいと思う居場所

問6 あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



○あったらいいと思う居場所は、「友だち、仲間と過ごせる場所」が 66.9%と最も多く、次いで「一人で自由に過ごせる場所」(52.7%)、「スポーツや読書など好きなことが自由に行える場所」(47.8%) などとなっています。

○なお、「今のままで満足している」は 12.8%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生、中学2～3年生ともに、「友だち、仲間と過ごせる場所」が6割以上となっていますが、中学2～3年生では、「一人で自由に過ごせる場所」が 73.6%と最も多く、「スポーツや読書など好きなことが自由に行える場所」(53.6%)や「自主学習ができる場所」(33.2%)、「学校以外で同世代の人と出会える場所」(28.4%)も小学5～6年生より多くなっています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

		調査数	一人で自由に過ごせる場所	友だち、仲間と過ごす場所	学校の外で同世代の人と出会う場所	交流できる世代の人と	自主学習ができる場所	勉強を教える場所	スポーツや読書など好きなことが自由に行える場所	仲間と共通の目標のため活動できる場所	問題や悩みを相談できる場所	その他	わからない	今のままで満足している	無回答
上段：件数 下段：%															
全 体		954 100.0	503 52.7	638 66.9	198 20.8	86 9.0	189 19.8	229 24.0	456 47.8	213 22.3	185 19.4	13 1.4	12 1.3	122 12.8	4 0.4
性別	男性	473 100.0	241 51.0	313 66.2	88 18.6	37 7.8	81 17.1	94 19.9	228 48.2	108 22.8	63 13.3	5 1.1	4 0.8	65 13.7	-
	女性	469 100.0	256 54.6	319 68.0	109 23.2	46 9.8	104 22.2	132 28.1	224 47.8	103 22.0	118 25.2	8 1.7	7 1.5	57 12.2	2 0.4
該当数別	0 個	379 100.0	186 49.1	241 63.6	63 16.6	30 7.9	72 19.0	65 17.2	167 44.1	66 17.4	48 12.7	2 0.5	2 0.5	73 19.3	2 0.5
	1 ～ 2 個	430 100.0	227 52.8	293 68.1	94 21.9	45 10.5	91 21.2	120 27.9	211 49.1	110 25.6	92 21.4	7 1.6	9 2.1	41 9.5	1 0.2
	3 ～ 4 個	92 100.0	61 66.3	67 72.8	31 33.7	5 5.4	20 21.7	28 30.4	51 55.4	28 30.4	28 30.4	3 3.3	1 1.1	4 4.3	-
	5 個以上	16 100.0	14 87.5	11 68.8	3 18.8	3 18.8	6 37.5	5 31.3	9 56.3	2 12.5	8 50.0	-	-	-	-

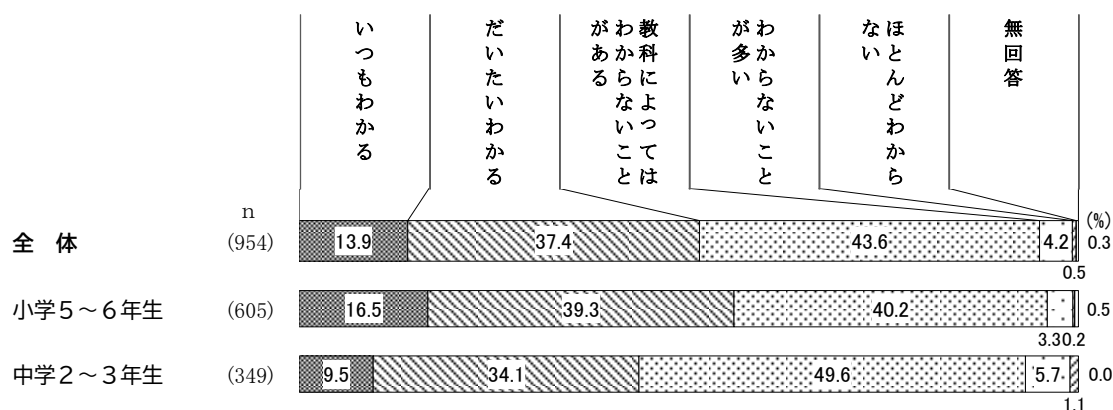
○性別にみると、女性では、「勉強を教えてくれる人がいる場所」「問題や悩みを相談できる場所」が約8～11 ポイント男性を上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が多いほど、「一人で自由に過ごせる場所」「自主学習ができる場所」「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」「問題や悩みを相談できる場所」は多くなり、特に「一人で自由に過ごせる場所」では3 個以上で6 割を超えています。

2 勉強や成績のことについて

(1) 授業に対する理解度

問7 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)



○授業に対する理解度は、「いつもわかる」(13.9%)と「だいたいわかる」(37.4%)を合わせた『わかる』は51.3%となっています。

○一方で、「教科によってはわからないことがある」が43.6%と最も多く、「わからないことが多い」が(4.2%)と「ほとんどわからない」(0.5%)を合わせた『わからない』は4.7%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、『わかる』が55.8%であるのに対し、中学2～3年生では43.6%と12.2ポイント下回り、中学2～3年生は「教科によってはわからないことがある」が49.6%と、半数を占めています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

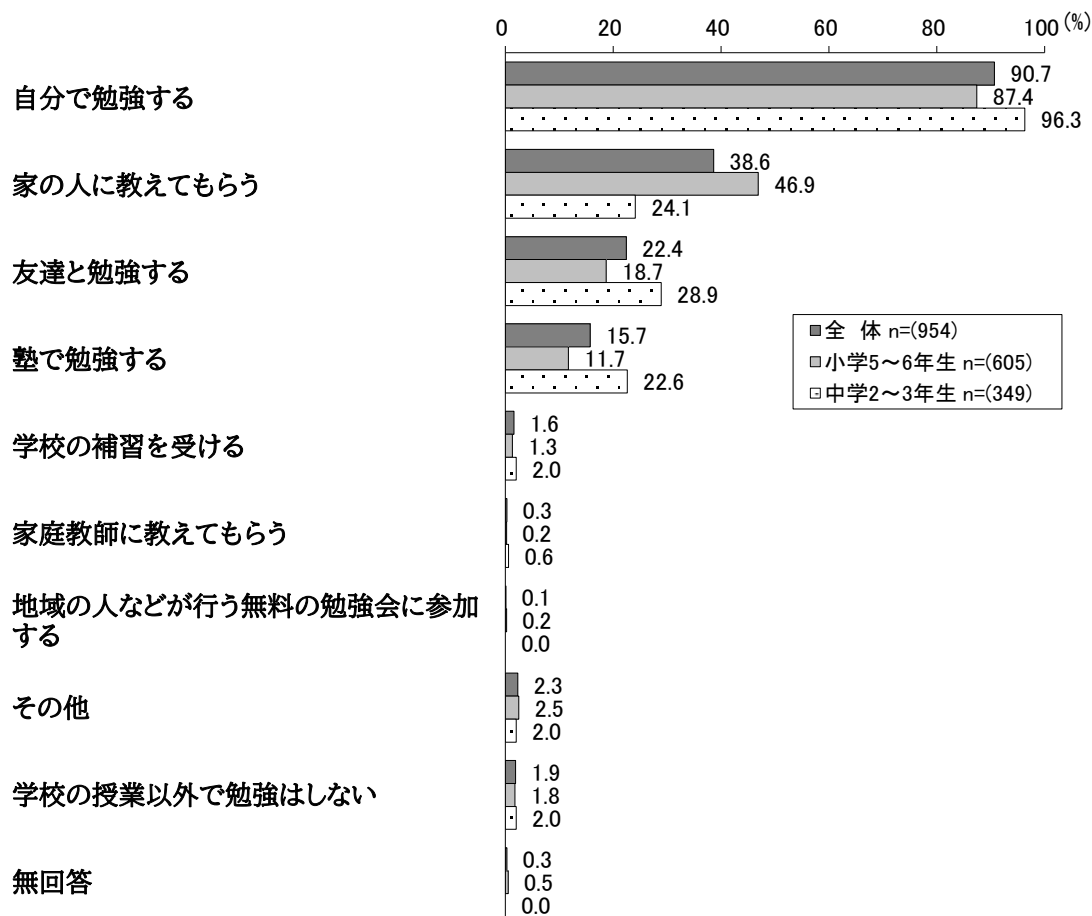
上段：件数 下段：％		調査数	いつもわかる	るだいたいわかる	こは教とわ科がかにあらよるなつて	とわがか多らないこ	らほとないどわか	無回答
全 体		954 100.0	133 13.9	357 37.4	416 43.6	40 4.2	5 0.5	3 0.3
性別	男性	473 100.0	74 15.6	191 40.4	185 39.1	19 4.0	3 0.6	1 0.2
	女性	469 100.0	56 11.9	162 34.5	228 48.6	21 4.5	1 0.2	1 0.2
該当数別	0 個	379 100.0	63 16.6	158 41.7	145 38.3	12 3.2	－ －	1 0.3
	1 ～ 2 個	430 100.0	56 13.0	147 34.2	205 47.7	19 4.4	2 0.5	1 0.2
	3 ～ 4 個	92 100.0	6 6.5	31 33.7	46 50.0	7 7.6	2 2.2	－ －
	5 個以上	16 100.0	1 6.3	6 37.5	7 43.8	1 6.3	1 6.3	－ －

○性別にみると、女性では、「教科によってはわからないことがある」が48.6%と、男性を9.5ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が0個では、「だいたいわかる」が41.7%とほかより多くなっていますが、1～4個では、「教科によってはわからないことがある」が5割前後とほかより多くなっています。

(2) 学校の授業以外のふだんの勉強状況

問8 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)



○学校の授業以外のふだんの勉強状況は、「自分で勉強する」が 90.7%を占めています。

以下「家の人に教えてもらう」(38.6%)、「友達と勉強する」(22.4%)、「塾で勉強する」(15.7%) などとなっています。

○一方、「学校の授業以外で勉強はしない」は 1.9%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生、中学2～3年生ともに「自分で勉強する」が最も多くなっていますが、中学2～3年生では 96.3%を占め、小学5～6年生を 8.9 ポイント上回っています。

○小学5～6年生では、「家の人に教えてもらう」が 46.9%と次いで多く、中学2～3年生を 22.8 ポイント上回っています。

○中学2～3年生では、「友達と勉強する」(28.9%) や「塾で勉強する」(22.6%) で小学5～6年生を約 10 ポイント上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：%		調 査 数	自 分 で 勉 強 す る	塾 で 勉 強 す る	学 校 の 補 習 を 受 け る	家 庭 教 師 に 教 え て も ら う	地 域 の 無 料 の 学 校 に 参 加 す る 勉 強	家 の 人 に 教 え て も ら う	友 達 と 勉 強 す る	そ の 他	学 校 の 授 業 に あ い わ ず 勉 強 す る	無 回 答
全 体		954 100.0	865 90.7	150 15.7	15 1.6	3 0.3	1 0.1	368 38.6	214 22.4	22 2.3	18 1.9	3 0.3
性 別	男性	473 100.0	427 90.3	68 14.4	11 2.3	2 0.4	-	142 30.0	83 17.5	11 2.3	10 2.1	1 0.2
	女性	469 100.0	429 91.5	81 17.3	4 0.9	1 0.2	1 0.2	222 47.3	130 27.7	11 2.3	6 1.3	1 0.2
該 当 数 別	0 個	379 100.0	354 93.4	53 14.0	2 0.5	-	-	154 40.6	82 21.6	13 3.4	1 0.3	1 0.3
	1 ～ 2 個	430 100.0	376 87.4	71 16.5	9 2.1	2 0.5	1 0.2	162 37.7	98 22.8	8 1.9	13 3.0	1 0.2
	3 ～ 4 個	92 100.0	87 94.6	19 20.7	2 2.2	1 1.1	-	31 33.7	24 26.1	1 1.1	4 4.3	-
	5 個以上	16 100.0	15 93.8	3 18.8	1 6.3	-	-	5 31.3	5 31.3	-	-	-

○性別にみると、女性では、「家の人に教えてもらう」が47.3%と17.3ポイント、「友達と勉強する」が27.7%と10.2ポイント、男性を上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が少ないほど、「家の人に教えてもらう」は多くなり、0個では40.6%となっています。

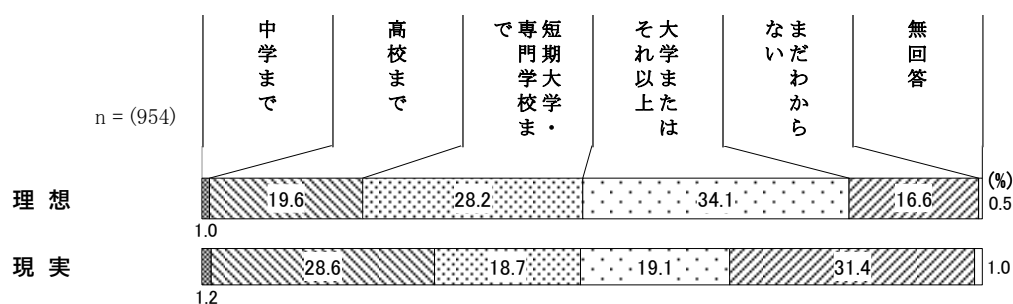
○一方で、3個以上では、「塾で勉強する」「友達と勉強する」がほかよりやや多くなっています。

3 進学への考えについて

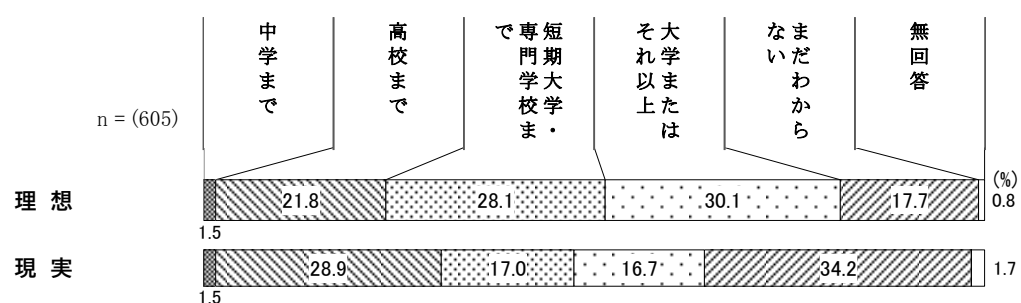
(1) 将来の進学への考え（理想と現実との比較）

問9 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。理想とするものと現実的だと思うもの、それぞれについてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

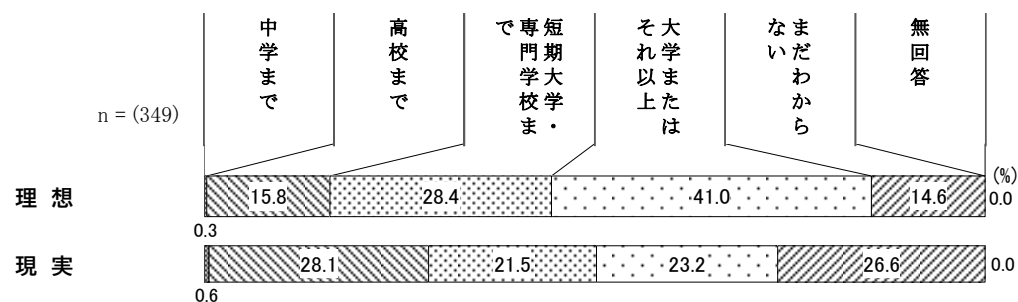
【将来の進学への考え：全体】



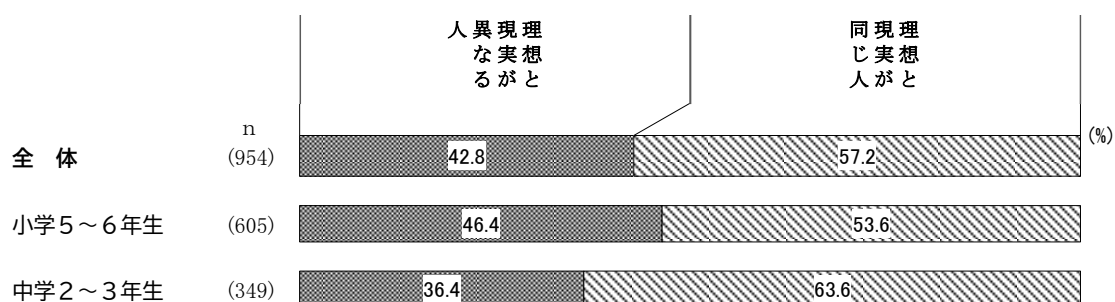
【将来の進学への考え：小学5～6年生】



【将来の進学への考え：中学2～3年生】



【理想と現実との比較】



- 将来の進学への考えで理想としては、「大学またはそれ以上」が 34.1%と最も多く、次いで「短期大学・専門学校まで」(28.2%)、「高校まで」(19.6%) などとなっています。
- 現実としては、「まだわからない」が 31.4%と最も多く、理想を 14.8 ポイント上回っています。次いで多いのは「高校まで」で 28.6%、「大学またはそれ以上」で 19.1%となっています。
- 学年別にみると、理想としては、小学5～6年生、中学2～3年生ともに「大学またはそれ以上」が最も多くなっていますが、中学2～3年生では 41.0%と、小学5～6年生を 10.9 ポイント上回っています。
- 現実としては、小学5～6年生では、「まだわからない」が 34.2%と最も多くなっているものの、中学2～3年生では、「まだわからない」は 26.6%にとどまり、「高校まで」が 28.1%と最も多くなっています。そのほか「短期大学・専門学校まで」(17.0%)や「大学またはそれ以上」(16.7%)が小学5～6年生より多くなっています。
- 将来の進学への考えの理想と現実とを比較すると、「理想と現実が異なる人」は全体で 42.8%、小学5～6年生で 46.4%、中学2～3年生で 36.4%となっています。

【将来の進学への考え（理想・現実）、理想と現実との比較：
性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

		【将来の進学への考え：理想】						【将来の進学への考え：現実】						【理想と現実との比較】	
	調査数 上段：件数 下段：%	中学まで	高校まで	短期大学・専門学校まで	以上大学またはそれ	まだわからない	無回答	中学まで	高校まで	短期大学・専門学校まで	以上大学またはそれ	まだわからない	無回答	理想と現実が異なる人	理想と現実が同じ人
全 体	954 100.0	10 1.0	187 19.6	269 28.2	325 34.1	158 16.6	5 0.5	11 1.2	273 28.6	178 18.7	182 19.1	300 31.4	10 1.0	408 42.8	546 57.2
性別	男性	473 100.0	3 0.6	124 26.2	87 18.4	175 37.0	80 16.9	4 0.8	6 1.3	153 32.3	69 14.6	92 19.5	148 31.3	193 40.8	280 59.2
	女性	469 100.0	5 1.1	61 13.0	181 38.6	145 30.9	77 16.4	-	5 1.1	116 24.7	108 23.0	88 18.8	148 31.6	206 43.9	263 56.1
該当数別	0 個	379 100.0	2 0.5	64 16.9	94 24.8	144 38.0	73 19.3	2 0.5	2 0.5	88 23.2	74 19.5	93 24.5	119 31.4	133 35.1	246 64.9
	1～2 個	430 100.0	6 1.4	96 22.3	129 30.0	136 31.6	61 14.2	2 0.5	9 2.1	130 30.2	78 18.1	72 16.7	137 31.9	199 46.3	231 53.7
	3～4 個	92 100.0	2 2.2	18 19.6	29 31.5	30 32.6	13 14.1	-	-	38 41.3	17 18.5	11 12.0	26 28.3	49 53.3	43 46.7
	5 個以上	16 100.0	-	1 6.3	6 37.5	6 37.5	3 18.8	-	-	5 31.3	4 25.0	1 6.3	6 37.5	12 75.0	4 25.0

○性別にみると、将来の進学への考えで理想としては、男性では「高校まで」が 26.2%と、女性を 13.2 ポイント上回り、女性では「短期大学・専門学校まで」が 38.6%と、男性を 20.2 ポイント上回っています。

○現実としては、男性では「高校まで」が 32.3%と、女性を 7.6 ポイント上回り、女性では「短期大学・専門学校まで」が 23.0%と、男性を 8.4 ポイント上回っています。
なお、男性女性ともに「まだわからない」が約 3 割となっています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、将来の進学への考えで理想としては、0 個では「大学またはそれ以上」が 38.0%とほかより多く、1 個以上では「短期大学・専門学校まで」が約 3 割と、0 個より多くなっています。

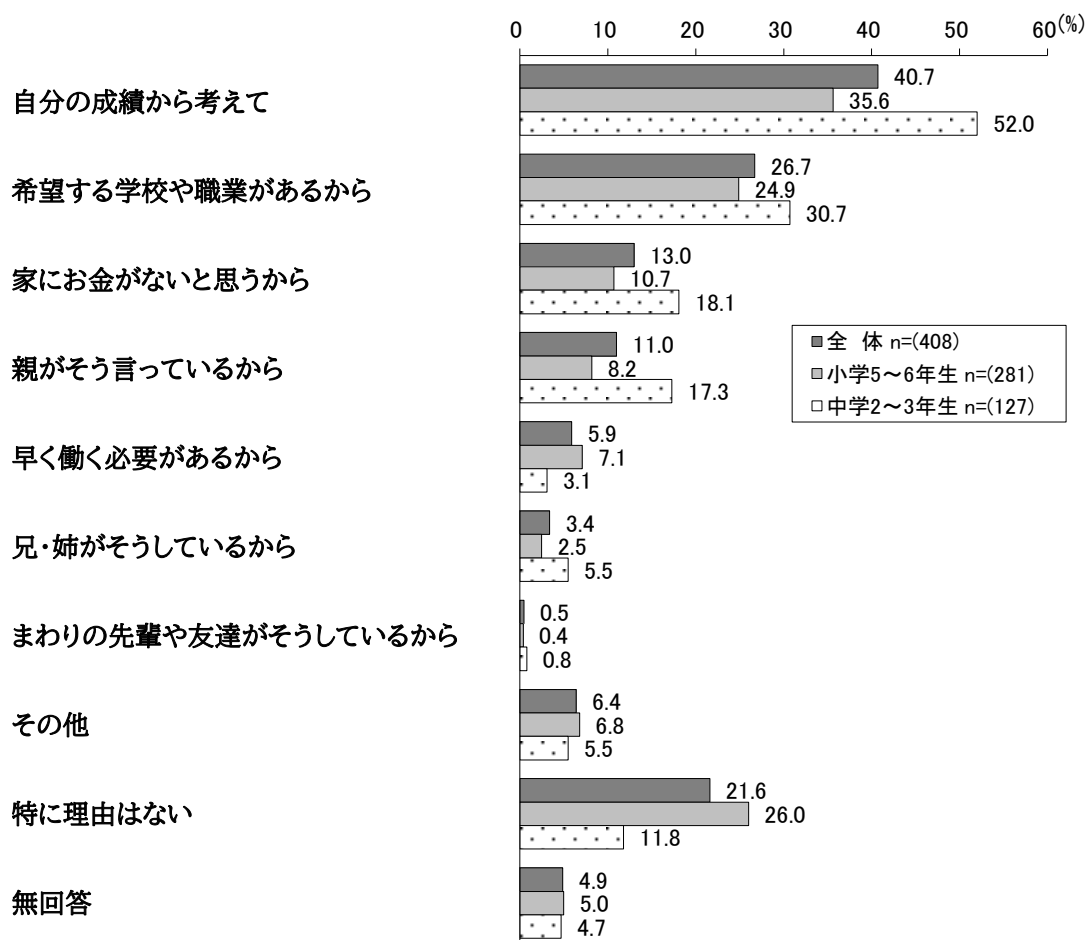
○現実としては、0 個では「大学またはそれ以上」が 24.5%とほかより多く、1 個以上では「高校まで」が 0 個より多く、約 3～4 割となっています。

○将来の進学への考えの理想と現実との比較では、該当数が多いほど「理想と現実が異なる人」は多くなり、3 個以上では 5 割以上となっています。

(2) 将来の進学が、理想と現実で異なる理由

【問9で「理想」と「現実」が異なる方（異なる番号を回答した方）のみ】

問10 その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



○将来の進学が、理想と現実で異なる理由は、「自分の成績から考えて」が40.7%と最も多く、次いで「希望する学校や職業があるから」(26.7%)、「家にお金がないと思うから」(13.0%)、「親がそう言っているから」(11.0%) などとなっています。

○一方、「特に理由はない」は21.6%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「自分の成績から考えて」(35.6%)や「希望する学校や職業があるから」(24.9%)のほか、「特に理由はない」が26.0%と、中学2～3年生を14.2ポイント上回っています。

○中学2～3年生では、全体と上位4位は同項目であるものの、いずれも小学5～6年生より多く、特に「自分の成績から考えて」では52.0%と、小学5～6年生を10.9ポイント上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

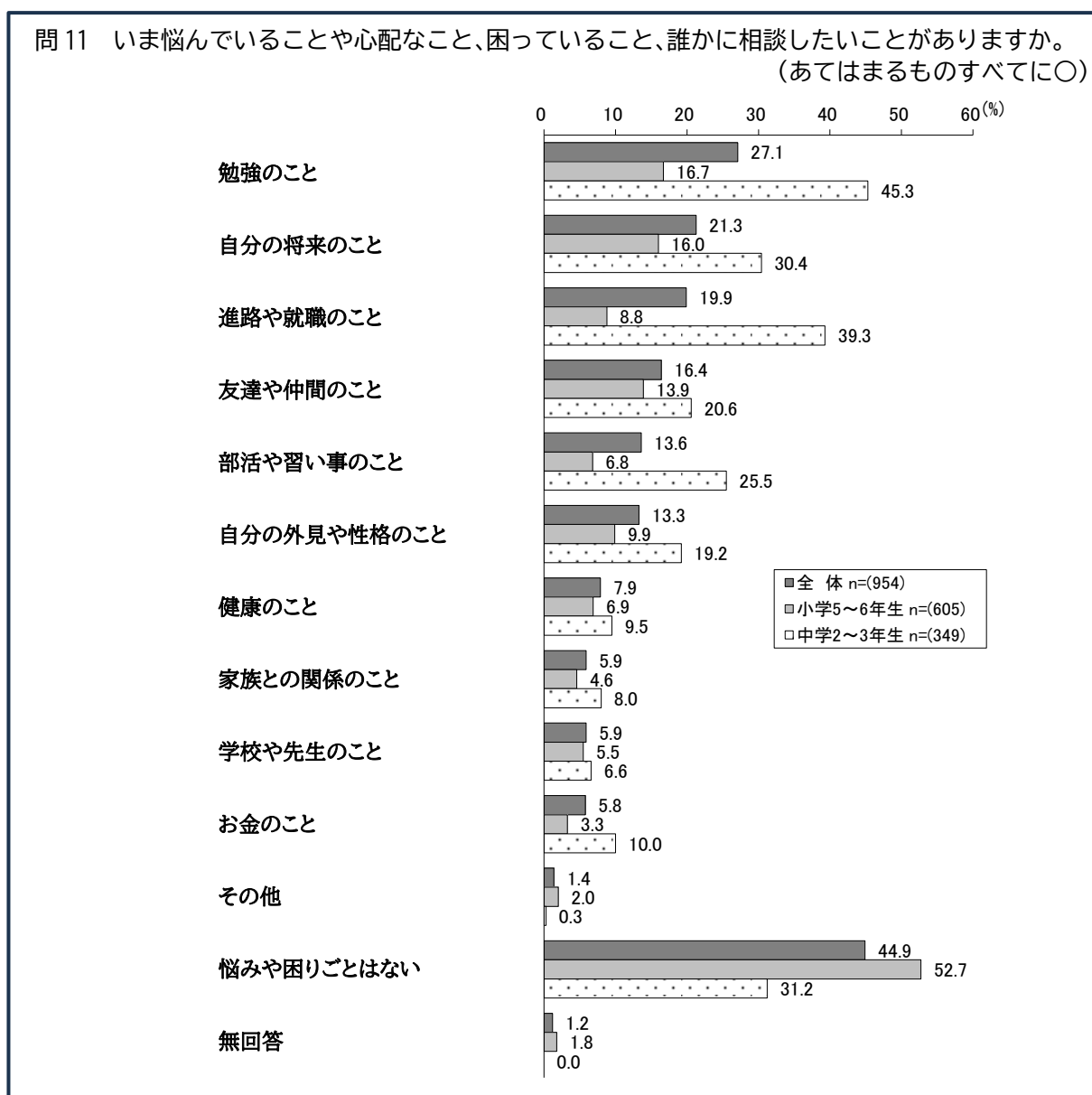
上段：件数 下段：%		調査数	職業希望がある学校や	考自 え分の 成績から	い親 がそう 言っ て	て兄 い・ る姉 が そう し	い友 ま 達わ り か ら その 先 輩 や	と家 思 に お 金 が ない	あ早 く 働 く 必 要 が	そ 他	特 に 理 由 は ない	無 回 答
全 体		408 100.0	109 26.7	166 40.7	45 11.0	14 3.4	2 0.5	53 13.0	24 5.9	26 6.4	88 21.6	20 4.9
性別	男性	193 100.0	43 22.3	76 39.4	21 10.9	6 3.1	1 0.5	26 13.5	12 6.2	10 5.2	45 23.3	5 2.6
	女性	206 100.0	62 30.1	88 42.7	22 10.7	7 3.4	1 0.5	26 12.6	10 4.9	15 7.3	42 20.4	14 6.8
該当 数別	0 個	133 100.0	37 27.8	56 42.1	10 7.5	6 4.5	1 0.8	13 9.8	7 5.3	4 3.0	35 26.3	9 6.8
	1 ～ 2 個	199 100.0	49 24.6	76 38.2	21 10.6	4 2.0	－	23 11.6	11 5.5	18 9.0	42 21.1	10 5.0
	3 ～ 4 個	49 100.0	12 24.5	26 53.1	10 20.4	3 6.1	1 2.0	11 22.4	3 6.1	4 8.2	7 14.3	－
	5 個以上	12 100.0	5 41.7	4 33.3	4 33.3	1 8.3	－	4 33.3	1 8.3	－	－	1 8.3

○性別にみると、女性では、「希望する学校や職業があるから」が 30.1%と、男性を 7.8 ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が多いほど、「親がそう言っているから」「家にお金がないと思うから」は多くなり、5 個以上で約 3 割となっています。また、「希望する学校や職業があるから」でも 41.7%と、ほかより多くなっています。

4 普段の生活状況について

(1) 悩みや心配など、相談したいこと



○いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことについては、「勉強のこと」が27.1%と最も多く、次いで「自分の将来のこと」(21.3%)、「進路や就職のこと」(19.9%) などとなっています。

○一方、「悩みや困りごとはない」は44.9%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「悩みや困りごとはない」が52.7%と、中学2～3年生を21.5ポイント上回っています。

○中学2～3年生では、「悩みや困りごとはない」以外の項目すべて、小学5～6年生より多くなっており、特に「自分の将来のこと」(30.4%)や「部活や習い事のこと」(25.5%)では約14～18ポイント、「勉強のこと」(45.3%)や「進路や就職のこと」(39.3%)では約28～30ポイント、小学5～6年生を上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：%		調査 数	勉強 の こと	と進 路 や 就 職 の こ と	と家 族 と の 関 係 の こ と	と友 達 や 仲 間 の こ と	と学 校 や 先 生 の こ と	と部 活 や 習 い 事 の こ と	格自 分の こと の外 見 や 性 格	と自 分の 将 来 の こ と	お金 の こと	健康 の こと	その他	は悩 み や 困 り ご と は な い	無 回 答
全 体		954 100.0	259 27.1	190 19.9	56 5.9	156 16.4	56 5.9	130 13.6	127 13.3	203 21.3	55 5.8	75 7.9	13 1.4	428 44.9	11 1.2
性別	男性	473 100.0	114 24.1	79 16.7	14 3.0	49 10.4	18 3.8	52 11.0	44 9.3	92 19.5	31 6.6	38 8.0	4 0.8	242 51.2	5 1.1
	女性	469 100.0	140 29.9	107 22.8	38 8.1	104 22.2	37 7.9	76 16.2	80 17.1	107 22.8	22 4.7	35 7.5	9 1.9	183 39.0	5 1.1
該当 数別	0 個	379 100.0	73 19.3	54 14.2	8 2.1	48 12.7	15 4.0	33 8.7	25 6.6	60 15.8	19 5.0	20 5.3	3 0.8	214 56.5	4 1.1
	1～2 個	430 100.0	132 30.7	95 22.1	30 7.0	73 17.0	24 5.6	68 15.8	72 16.7	100 23.3	19 4.4	31 7.2	5 1.2	170 39.5	3 0.7
	3～4 個	92 100.0	38 41.3	31 33.7	11 12.0	22 23.9	9 9.8	21 22.8	21 22.8	31 33.7	10 10.9	18 19.6	2 2.2	26 28.3	-
	5 個以上	16 100.0	10 62.5	6 37.5	6 37.5	8 50.0	5 31.3	5 31.3	6 37.5	6 37.5	5 31.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3	-

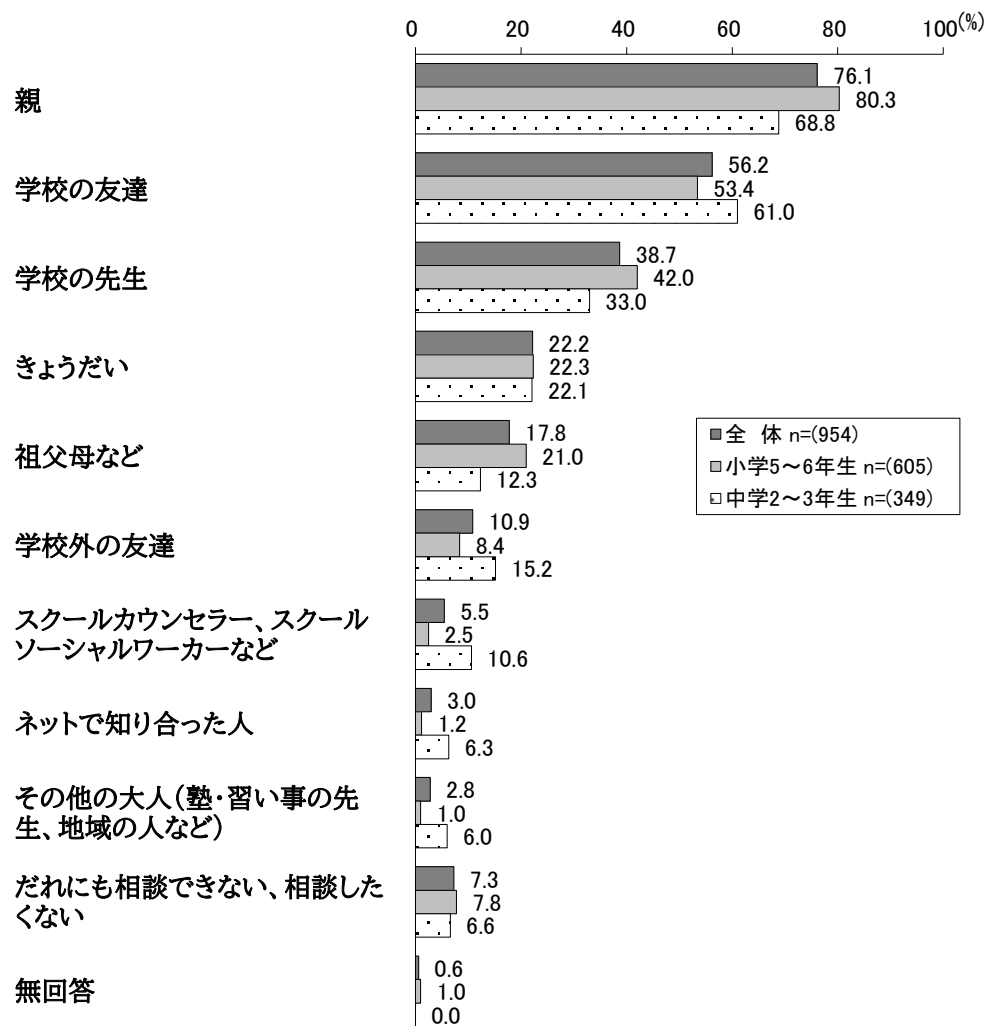
○性別にみると、女性では、「お金のこと」「健康のこと」以外の項目で男性より多く、特に「友達や仲間のこと」では 11.8 ポイント、「自分の外見や性格のこと」では 7.8 ポイント上回っています。

○一方で、男性は「悩みや困りごとはない」が 51.2%と、女性を 12.2 ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が少ないほど、「悩みや困りごとはない」が多くなっていますが、該当数が多いほど、そのほかの項目で多くなり、特に 5 個以上では「勉強のこと」「友達や仲間のこと」で 5 割を超えています。

(2) 相談相手

問12 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)



○困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人については、「親」が76.1%と最も多く、次いで「学校の友達」(56.2%)、「学校の先生」(38.7%) などとなっています。

○一方、「だれにも相談できない、相談したくない」は7.3%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「親」が80.3%を占め、中学2～3年生を11.5ポイント上回っています。また、「学校の先生」(42.0%) も中学2～3年生より9.0ポイント多くなっています。

○中学2～3年生では、「学校の友達」(61.0%) や「学校外の友達」(15.2%)、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」(10.6%) で、小学5～6年生より約6～8ポイント上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

	調査数	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクール、ワークショップ、サークルなど	習い事の先生、塾・その他の人など	ネット知り合った人	だれにも相談できない	無回答
上段：件数 下段：%												
全 体	954 100.0	726 76.1	212 22.2	170 17.8	369 38.7	536 56.2	104 10.9	52 5.5	27 2.8	29 3.0	70 7.3	6 0.6
性別												
男性	473 100.0	383 81.0	116 24.5	95 20.1	211 44.6	240 50.7	49 10.4	27 5.7	11 2.3	8 1.7	21 4.4	3 0.6
女性	469 100.0	340 72.5	94 20.0	75 16.0	157 33.5	292 62.3	55 11.7	25 5.3	16 3.4	20 4.3	44 9.4	2 0.4
該当数別												
0 個	379 100.0	312 82.3	89 23.5	77 20.3	168 44.3	225 59.4	33 8.7	19 5.0	9 2.4	3 0.8	22 5.8	- -
1 ～ 2 個	430 100.0	324 75.3	104 24.2	73 17.0	151 35.1	237 55.1	49 11.4	26 6.0	14 3.3	13 3.0	29 6.7	3 0.7
3 ～ 4 個	92 100.0	56 60.9	11 12.0	14 15.2	34 37.0	57 62.0	15 16.3	6 6.5	4 4.3	8 8.7	12 13.0	- -
5 個以上	16 100.0	4 25.0	2 12.5	- -	3 18.8	3 18.8	4 25.0	- -	- -	4 25.0	5 31.3	- -

○性別にみると、男性では、「親」が 81.0%を占め、また、「学校の先生」「学校の友達」が 4 割半ば～約 5 割と、女性を約 8 ～ 11 ポイントを上回っています。

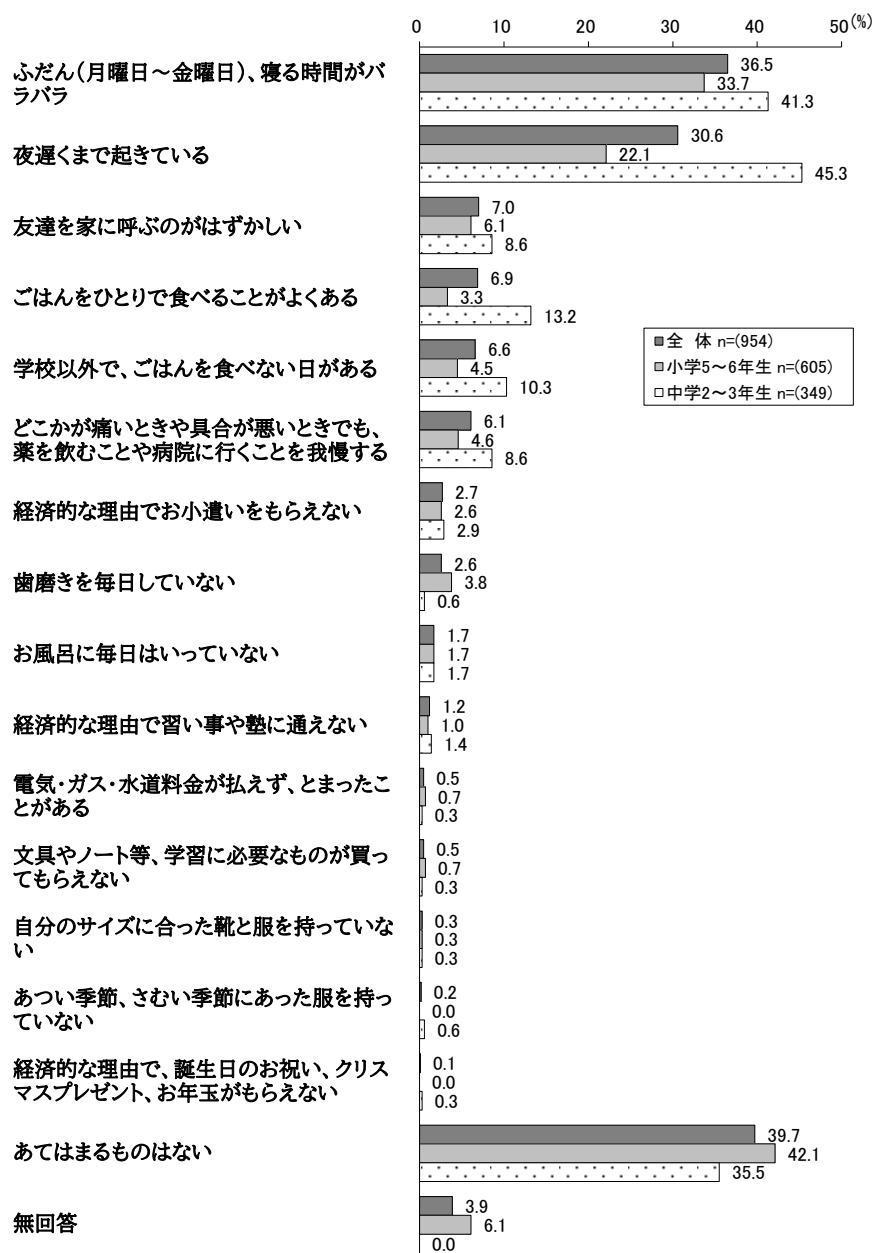
○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が少ないほど、「親」が多くなっており、また、0 個と 3 ～ 4 個では、「学校の先生」「学校の友達」でほかより多くなっています。

○一方で、該当数が多いほど、「学校外の友達」「ネットで知り合った人」や、「だれにも相談できない、相談したくない」で多くなっています。

(3) 普段の生活状況

問13 普段の生活について、あなたにあてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)



【該当数】

		調 査 数	0 個	1 個	3 個	5 個 以上	無 回 答
上段：件数 下段：％				2 個	4 個		
全 体		954 100.0	379 39.7	430 45.1	92 9.6	16 1.7	37 3.9
学 年 別	小学5～6年生	605 100.0	255 42.1	267 44.1	42 6.9	4 0.7	37 6.1
	中学2～3年生	349 100.0	124 35.5	163 46.7	50 14.3	12 3.4	－ －

○普段の生活状況で不規則な生活や経済的困難にあてはまるかについては、「ふだん（月曜日～金曜日）、寝る時間がバラバラ」が 36.5%と最も多く、次いで「夜遅くまで起きている」（30.6%）が多くなっています。

○一方で、「あてはまるものはない」は 39.7%となっています。

○該当する項目の数としては、「1～2個」が 45.1%と最も多く、「3～4個」は 9.6%、「5個以上」は 1.7%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「あてはまるものはない」が 42.1%と、中学2～3年生を 6.6 ポイント上回っています。

○中学2～3年生では、小学5～6年生を上位6位の項目で上回り、特に「夜遅くまで起きている」は 45.3%と、小学5～6年生を 23.2 ポイント上回っています。

○該当する項目の数としては、小学5～6年生では、「0個」が 42.1%と、中学2～3年生を 6.6 ポイント上回っていますが、中学2～3年生では、「3～4個」で 14.3%と、小学5～6年生を 7.4 ポイント上回っています。

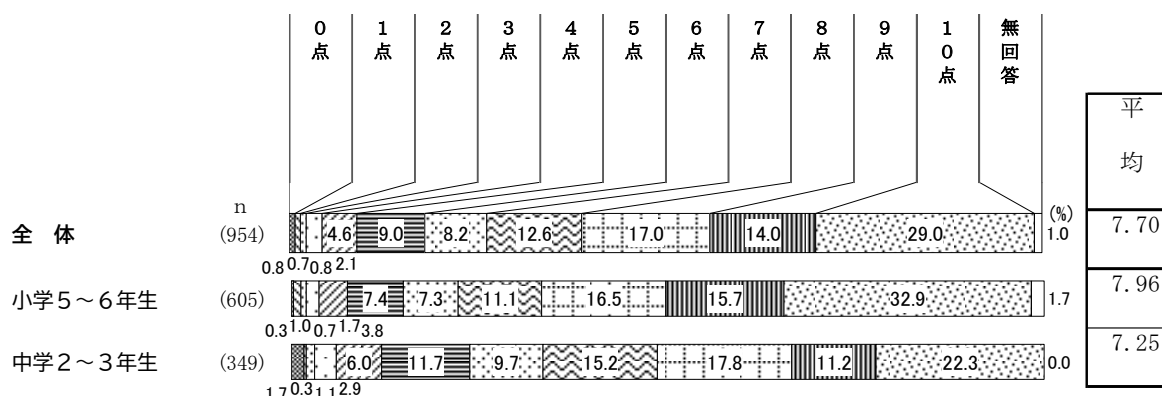
【不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：%		調査数	ラ日ふだん、 寝る時間がバラバラ	夜遅くまで起きている	べ学校以外で、 ごはんを食べる	こごはんをひとりで 食べることがよくある	ないお風呂に毎日 はいつてい	歯磨きを毎日 していない	をむがど 我慢すこか るやいと 病き痛 院でい に行とも く薬 こ飲 合	と自 服分の を持サ つてイ てに 合 つ た 靴	いにあ つ つ い 季 節、 さ む い 季 節
全 体		954 100.0	348 36.5	292 30.6	63 6.6	66 6.9	16 1.7	25 2.6	58 6.1	3 0.3	2 0.2
該 当 数 別	0 個	379 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	1～2 個	430 100.0	256 59.5	198 46.0	21 4.9	19 4.4	4 0.9	13 3.0	22 5.1	1 0.2	1 0.2
	3～4 個	92 100.0	76 82.6	80 87.0	29 31.5	35 38.0	6 6.5	8 8.7	26 28.3	1 1.1	1 1.1
	5 個以上	16 100.0	16 100.0	14 87.5	13 81.3	12 75.0	6 37.5	4 25.0	10 62.5	1 6.3	- -
			か友 し達 いを 家 に 呼 ぶ の が は ず	あ る 私 電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 料 金 が	え な い 要 な も の が 買 つ て も ら に	文 具 や ノ ー ト 等 、 学 習 に	塾 に 通 じ つ な い 理 由 で 習 い 事 や	を も ら え な い 理 由 で お 小 遣 い	え な い レ ゼ ン ト 、 お ク リ ス マ ス プ ラ ブ	あ て は ま る も の は な い	無 回 答
全 体		67 7.0	5 0.5	5 0.5	11 1.2	26 2.7	1 0.1	379 39.7	37 3.9		
該 当 数 別	0 個	- -	- -	- -	- -	- -	- -	379 100.0	- -	- -	- -
	1～2 個	38 8.8	2 0.5	- -	5 1.2	13 3.0	- -	- -	- -	- -	- -
	3～4 個	24 26.1	1 1.1	4 4.3	4 4.3	8 8.7	- -	- -	- -	- -	- -
	5 個以上	5 31.3	2 12.5	1 6.3	2 12.5	5 31.3	1 6.3	- -	- -	- -	- -

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、5 個以上では、「どこかが痛いときや具合が悪いときでも、薬を飲むことや病院に行くことを我慢する」で 62.5%となっており、また、「ふだん（月曜日～金曜日）、寝る時間がバラバラ」「夜遅くまで起きている」「学校以外で、ごはんを食べない日がある」「ごはんをひとりで食べることがよくある」では7割以上を占め、不規則な生活に関する項目で多くなっています。

(4) 生活の満足度

問 14 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（○は1つ）



○生活の満足度は、「10点」が29.0%と最も多く、次いで「8点」(17.0%)、「9点」(14.0%)、「7点」(12.6%) などとなっており、平均点数は7.70点となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生では、「9点」「10点」で中学2～3年生より多く、特に「10点」では32.9%と、中学2～3年生を10.6ポイント上回っています。

○平均点数は、小学5～6年生では7.96点、中学2～3年生では7.25点と、小学5～6年生の方が平均点数はやや高くなっています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：%		調査数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全 体	954	100.0	0.8	0.7	0.8	2.1	4.6	9.0	8.2	12.6	17.0	14.0	29.0	1.0	7.70
	473	100.0	0.8	0.7	0.8	2.1	4.6	9.0	8.2	12.6	17.0	14.0	29.0	1.0	7.70
性別	男性	473	0.8	0.7	0.8	2.1	4.6	9.0	8.2	12.6	17.0	14.0	29.0	1.0	7.90
	女性	469	0.6	1.5	0.6	2.3	4.1	10.7	8.7	12.8	17.3	15.4	24.9	1.1	7.55
該当数別	0個	379	0.5	0.3	0.3	0.5	2.6	6.1	5.8	9.2	16.4	17.9	40.4	-	8.39
	1～2個	430	0.7	0.5	1.2	3.5	4.7	10.9	9.5	14.2	18.4	12.1	23.7	0.7	7.41
	3～4個	92	3.3	2.2	2.2	1.1	10.9	10.9	13.0	15.2	18.5	8.7	13.0	1.1	6.56
	5個以上	16	-	2	-	2	1	5	1	4	1	-	-	-	4.94
		100.0	-	12.5	-	12.5	6.3	31.3	6.3	25.0	6.3	-	-	-	

○性別にみると、男性は「10点」で33.6%と、女性を8.7ポイント上回っており、平均点数は、男性では7.90点、女性では7.55点となっています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が少ないほど、「9点」「10点」は多くなり、0個では「10点」で40.4%となっています。

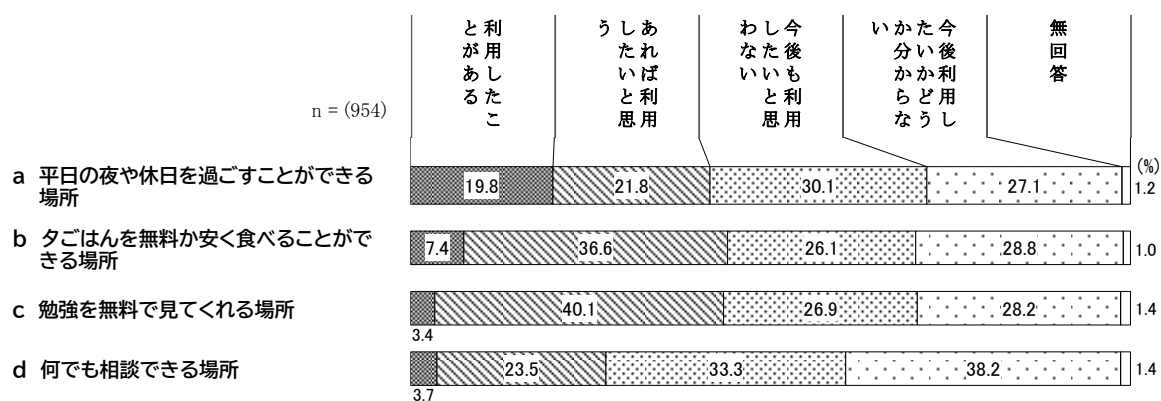
○平均点数は、該当数が多いほど低い傾向となり、0個の8.39点に比べ、5個以上では4.94点にとどまっています。

5 支援の利用状況について

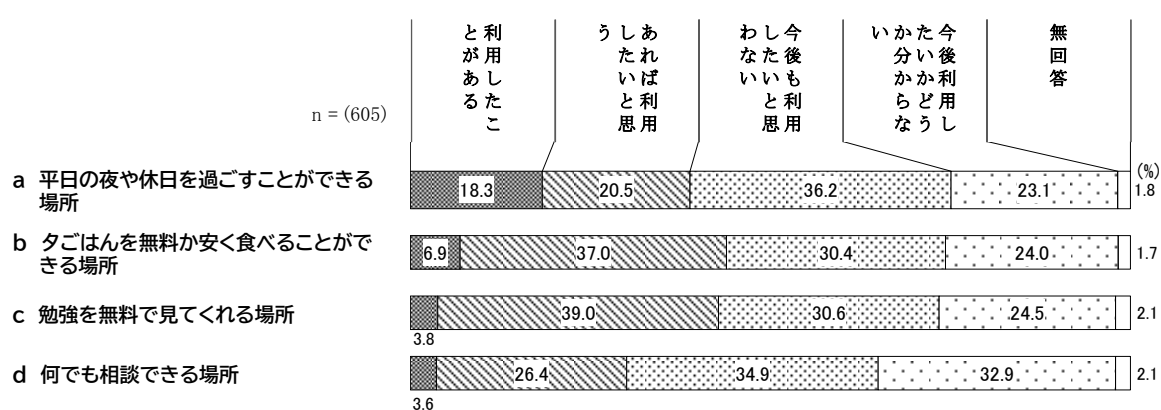
(1) 支援の利用状況

問 15 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、○は1つ)

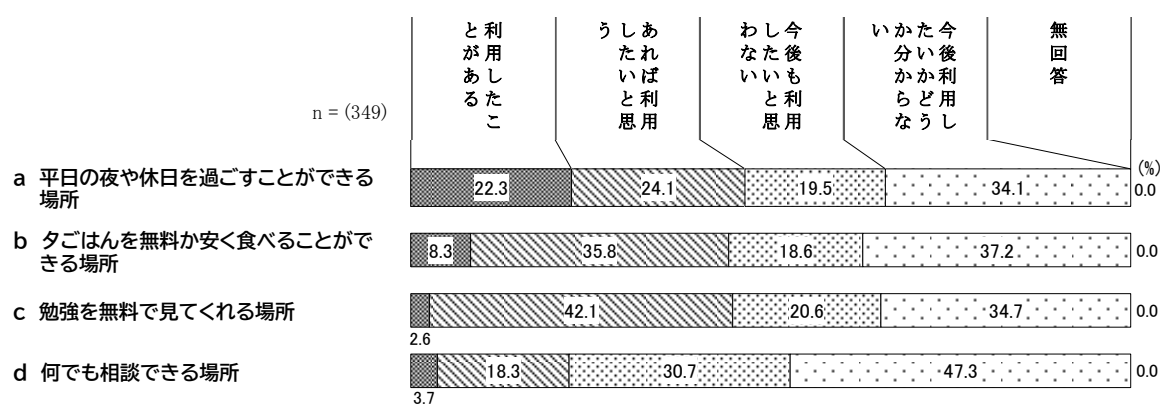
【全体】



【小学5～6年生】



【中学2～3年生】



○支援の利用状況は、「利用したことがある」が多いのは、《a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所》で、全体、小学5～6年生、中学2～3年生いずれも約2割となっています。

○また、《c 勉強を無料で見てくれる場所》では「あれば利用したいと思う」が全体、小学5～6年生、中学2～3年生いずれも約4割となっています。

○一方、「今後も利用したいと思わない」が多いのは、全体と中学2～3年生では、《d 何でも相談できる場所》で約3割、小学5～6年生では、《a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所》や《d 何でも相談できる場所》で3割半ばとなっています。

○なお、中学2～3年生では、《d 何でも相談できる場所》で「今後利用したいかどうか分からない」が47.3%と、全体、小学5～6年生より10～12ポイント上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

		《a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所》					
上段：件数 下段：％		調 査 数	が利 用し たこ と	たあ いれ とば 思利 う用 し	いた今 い後 とも 思利 わ用 なし	かい今 らか後 など利 いう用 かし 分た	無 回 答
全 体		954 100.0	189 19.8	208 21.8	287 30.1	259 27.1	11 1.2
性 別	男性	473 100.0	103 21.8	108 22.8	134 28.3	123 26.0	5 1.1
	女性	469 100.0	84 17.9	98 20.9	148 31.6	134 28.6	5 1.1
該 当 数 別	0 個	379 100.0	65 17.2	71 18.7	119 31.4	123 32.5	1 0.3
	1 ～ 2 個	430 100.0	93 21.6	93 21.6	130 30.2	109 25.3	5 1.2
	3 ～ 4 個	92 100.0	22 23.9	30 32.6	23 25.0	17 18.5	－
	5 個以上	16 100.0	4 25.0	8 50.0	2 12.5	2 12.5	－

		《b タごはんを無料で安く食べることができる場所》					
上段：件数 下段：％		調 査 数	が利 用し たこ と	たあ いれ とば 思利 う用 し	いた今 い後 とも 思利 わ用 なし	かい今 らか後 など利 いう用 かし 分た	無 回 答
全 体		71 7.4	349 36.6	249 26.1	275 28.8	10 1.0	
性 別	男性	37 7.8	186 39.3	107 22.6	138 29.2	5 1.1	
	女性	33 7.0	156 33.3	140 29.9	136 29.0	4 0.9	
該 当 数 別	0 個	23 6.1	115 30.3	115 30.3	125 33.0	1 0.3	
	1 ～ 2 個	35 8.1	176 40.9	107 24.9	108 25.1	4 0.9	
	3 ～ 4 個	9 9.8	41 44.6	12 13.0	30 32.6	－	
	5 個以上	1 6.3	8 50.0	2 12.5	5 31.3	－	

		《c 勉強を無料で見てくれる場所》					
上段：件数 下段：％		調 査 数	が利 用し たこ と	たあ いれ とば 思利 う用 し	いた今 い後 とも 思利 わ用 なし	かい今 らか後 など利 いう用 かし 分た	無 回 答
全 体		954 100.0	32 3.4	383 40.1	257 26.9	269 28.2	13 1.4
性 別	男性	473 100.0	18 3.8	171 36.2	140 29.6	139 29.4	5 1.1
	女性	469 100.0	13 2.8	208 44.3	113 24.1	128 27.3	7 1.5
該 当 数 別	0 個	379 100.0	9 2.4	148 39.1	106 28.0	114 30.1	2 0.5
	1 ～ 2 個	430 100.0	19 4.4	168 39.1	123 28.6	114 26.5	6 1.4
	3 ～ 4 個	92 100.0	3 3.3	43 46.7	18 19.6	28 30.4	－
	5 個以上	16 100.0	－	9 56.3	2 12.5	5 31.3	－

		《d 何でも相談できる場所》					
上段：件数 下段：％		調 査 数	が利 用し たこ と	たあ いれ とば 思利 う用 し	いた今 い後 とも 思利 わ用 なし	かい今 らか後 など利 いう用 かし 分た	無 回 答
全 体		35 3.7	224 23.5	318 33.3	364 38.2	13 1.4	
性 別	男性	13 2.7	114 24.1	168 35.5	173 36.6	5 1.1	
	女性	21 4.5	105 22.4	149 31.8	188 40.1	6 1.3	
該 当 数 別	0 個	10 2.6	72 19.0	136 35.9	159 42.0	2 0.5	
	1 ～ 2 個	14 3.3	113 26.3	137 31.9	160 37.2	6 1.4	
	3 ～ 4 個	6 6.5	23 25.0	30 32.6	33 35.9	－	
	5 個以上	4 25.0	5 31.3	4 25.0	3 18.8	－	

- 性別にみると、「あれば利用したいと思う」が多いのは、男性では、《b タごはんを無料か安く食べることができる場所》で 39.3%と女性を 6.0 ポイント上回り、女性では、《c 勉強を無料で見てくれる場所》で 44.3%と男性を 8.1 ポイント上回っています。
- 一方で、《b タごはんを無料か安く食べることができる場所》では「今後も利用したいと思わない」が女性は 29.9%と、男性を 7.3 ポイント上回っています。
- 不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、該当数が多いほど、いずれ支援も「あれば利用したいと思う」が多くなっており、特に5個以上では、《b タごはんを無料か安く食べることができる場所》《c 勉強を無料で見てくれる場所》で5割以上となっています。
- 一方で、該当数が少ないほど、いずれ支援も「今後も利用したいと思わない」が多くなっています。
- また、該当数が少ないほど、《a 平日の夜や休日を過ごすことができる場所》《d 何でも相談できる場所》で「今後利用したいかどうか分からない」が多くなっています。

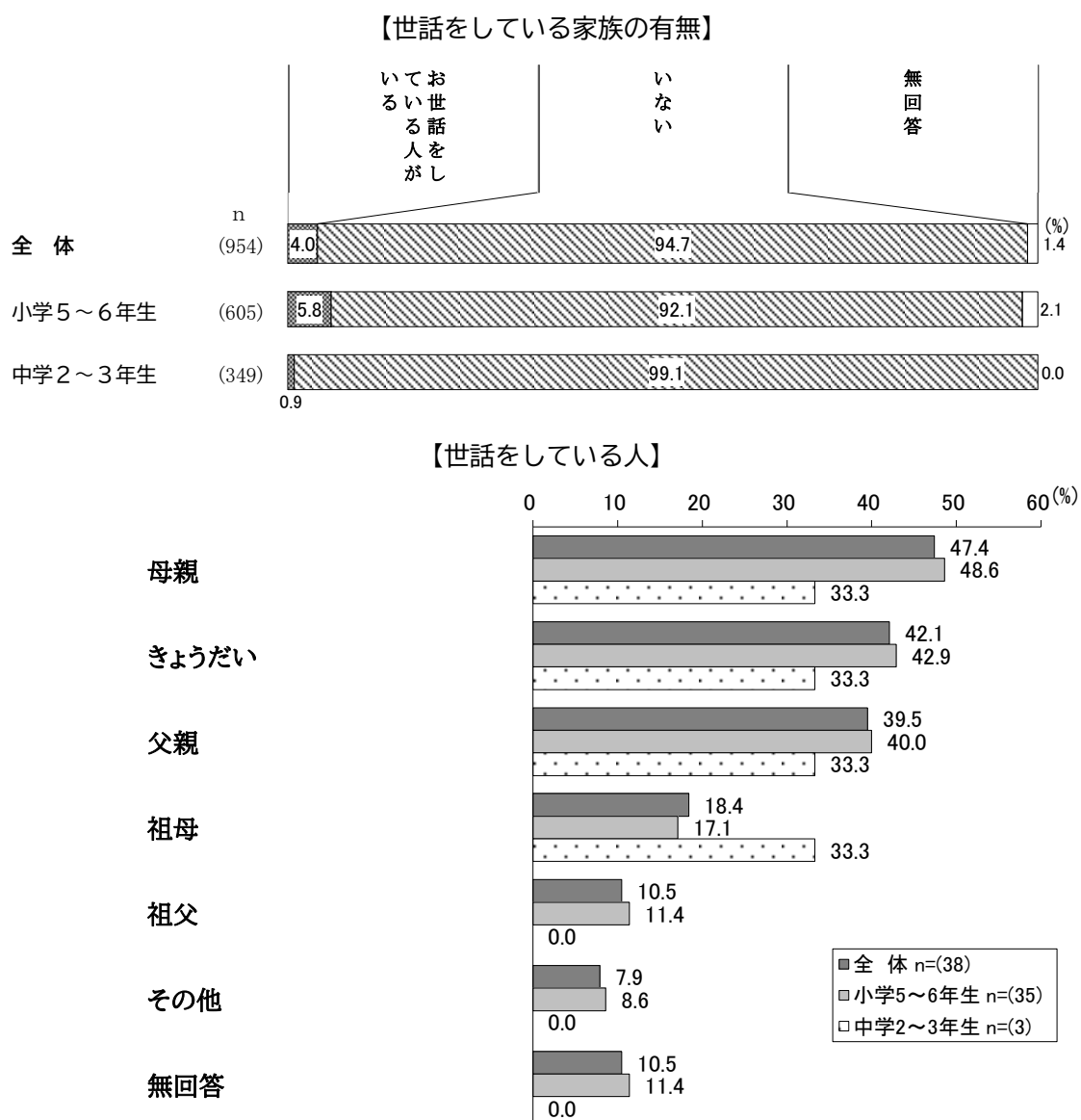
6 家族のお世話の状況について

(1) 支援や世話をしている家族

問 16 あなたが、高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やお世話をしている家族はいますか。(○は1つ)

【問 16 で「お世話をしている人がある」と回答した方のみ】

問 17-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)



○支援や世話をしている家族の有無は、「いない」が94.7%を占めています。

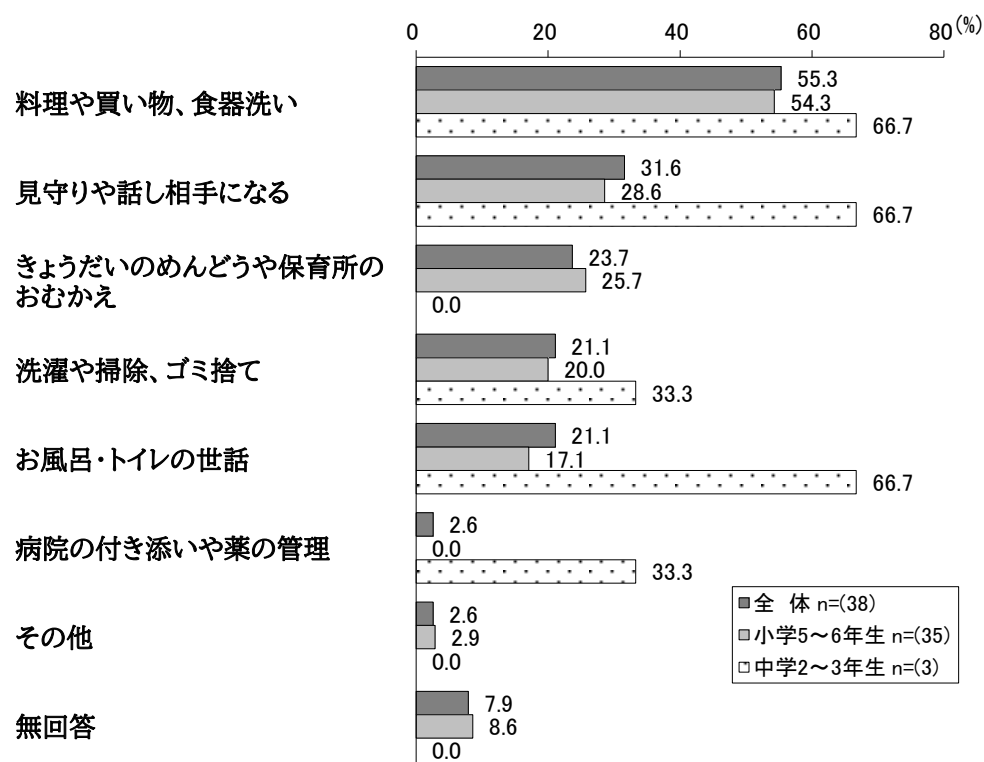
○一方で、「お世話をしている人がある」は4.0%となっており、世話をしている人は、「母親」が47.4%と最も多く、次いで「きょうだい」(42.1%)、「父親」(39.5%)、「祖母」(18.4%) などとなっています。

○学年別にみると、小学5～6年生で「お世話をしている人がある」が5.8%となっています。

(2) 行っている世話の内容

【問16で「お世話をしている人がいる」と回答した方のみ】

問17-2 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)



○行っている世話の内容は、「料理や買い物、食器洗い」が55.3%と最も多く、次いで「見守りや話し相手になる」(31.6%)、「きょうだいのめんどうや保育所のおむかえ」(23.7%)、「洗濯や掃除、ゴミ捨て」「お風呂・トイレの世話」(ともに21.1%)などとなっています。

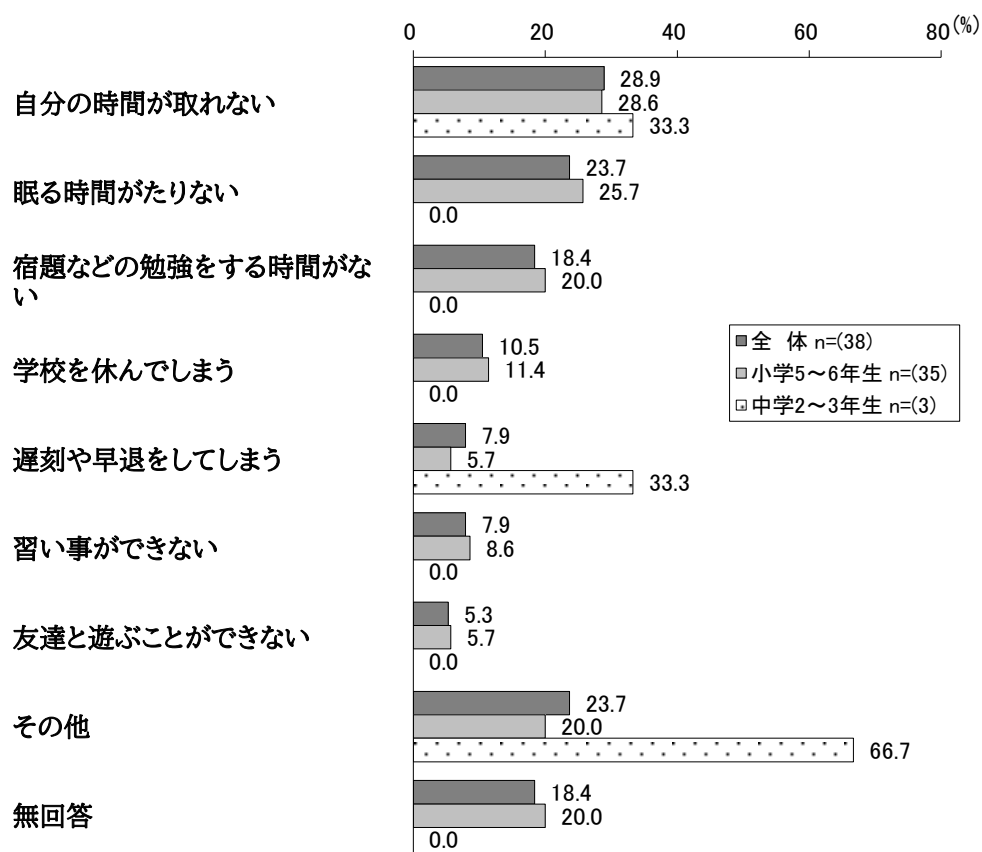
○学年別は、回答数が少ないため割愛します。

(3) 世話をしていることで経験したこと

【問16で「お世話をしている人がいる」と回答した方のみ】

問17-3 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)



○世話をしていることで経験したことは、「自分の時間が取れない」が28.9%と最も多く、次いで「眠る時間がたりない」(23.7%)、「宿題などの勉強をする時間がない」(18.4%)、「学校を休んでしまう」(10.5%) などとなっています。

○学年別は、回答数が少ないため割愛します。

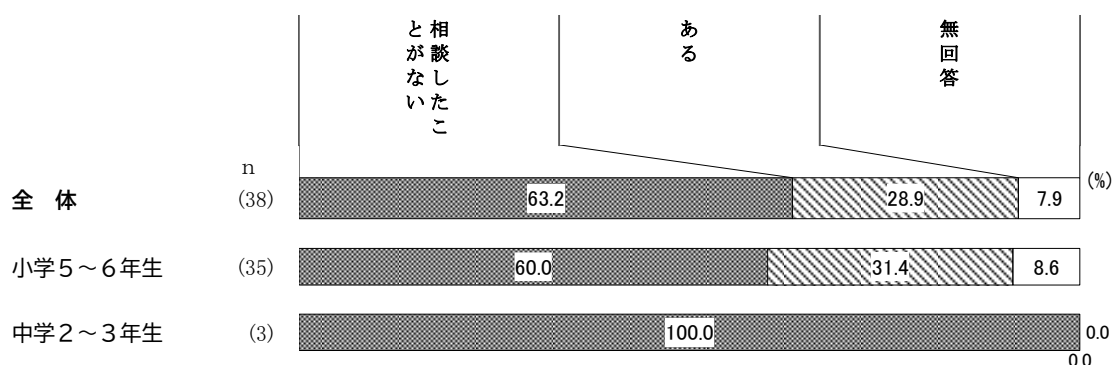
(4) 世話をしている家族についての相談

問 17-4 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(○は1つ)

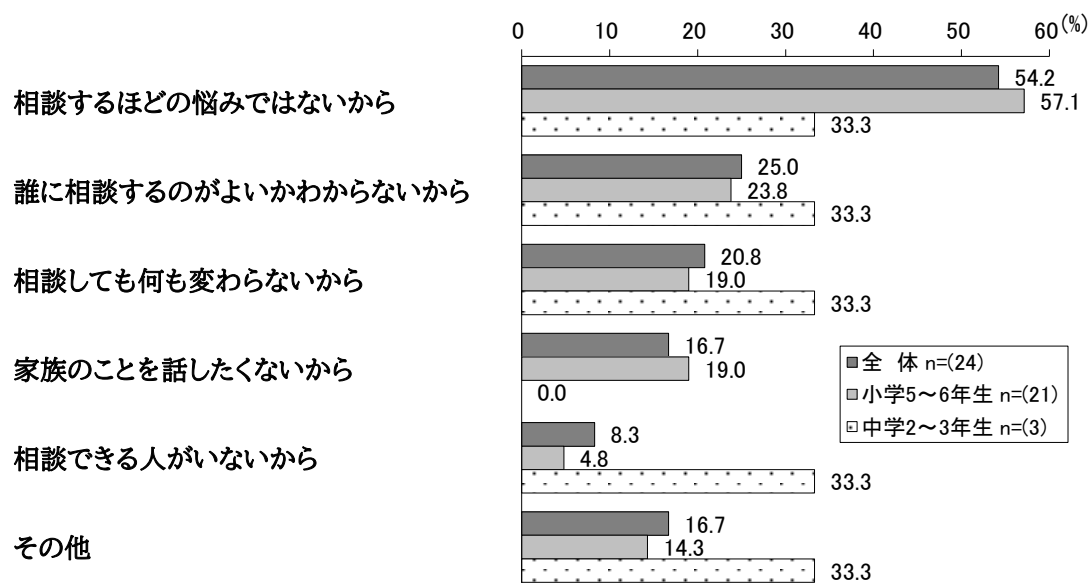
【問 17-4 で「相談したことがない」と回答した方】

問 17-5 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

【世話をしていることや悩みについての相談の有無】



【相談していない理由】



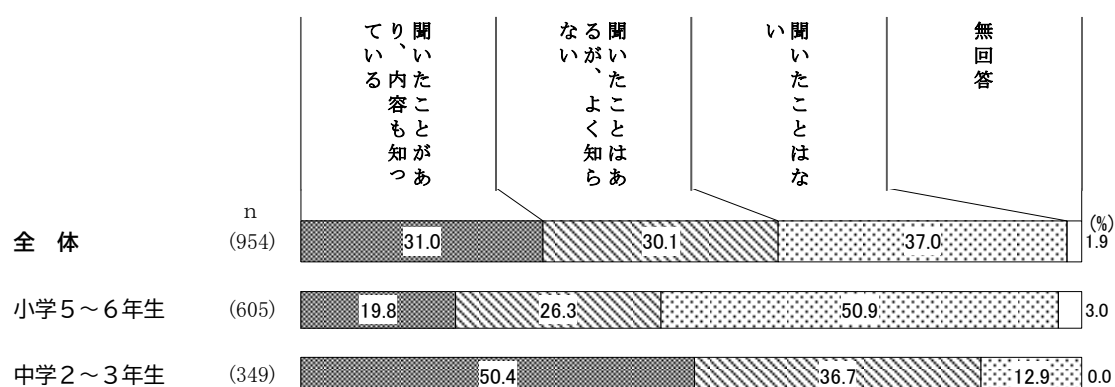
○世話をしていることや悩みについての相談の有無は、「相談したことがない」が 63.2% となっており、「ある」は 28.9%にとどまっています。

○相談していない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が 54.2%と最も多く、次いで「誰に相談するのがよいかわからないから」(25.0%)、「相談しても何も変わらないから」(20.8%)、「家族のことを話したくないから」(16.7%) などとなっています。

○学年別は、回答数が少ないため割愛します。

(5) ヤングケアラーという言葉の認知度

問 18 ヤングケアラーという言葉を知っていましたか。(○は1つ)



○「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」は31.0%にとどまっています。

○一方で「聞いたことはない」が37.0%と最も多く、「聞いたことはあるが、よく知らない」(30.1%)を合わせた『知らない』は67.1%となっています。

○学年別にみると、中学2～3年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」は50.4%と、小学5～6年生を30.6ポイント上回っています。

○一方で、小学5～6年生では、『知らない』が77.2%を占めています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

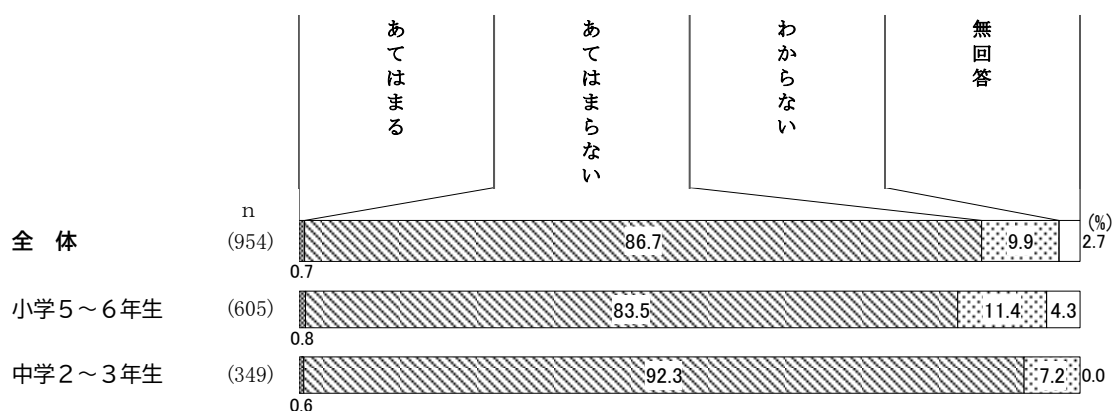
上段：件数 下段：%		調査数	内容が聞 くもあ い 知 り た こ と 内 と	い よ は 聞 く あ い 知 る た ら が 、 こ と	は 聞 か い た こ と	無 回 答
全 体		954 100.0	296 31.0	287 30.1	353 37.0	18 1.9
性別	男性	473 100.0	116 24.5	147 31.1	199 42.1	11 2.3
	女性	469 100.0	172 36.7	139 29.6	152 32.4	6 1.3
該当 数別	0 個	379 100.0	120 31.7	110 29.0	145 38.3	4 1.1
	1～2 個	430 100.0	127 29.5	125 29.1	170 39.5	8 1.9
	3～4 個	92 100.0	35 38.0	34 37.0	23 25.0	— —
	5 個以上	16 100.0	6 37.5	9 56.3	— —	1 6.3

○性別にみると、女性では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が36.7%と、男性を12.2ポイント上回っており、一方で、男性では、「聞いたことはない」が42.1%と、女性を9.7ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、3個以上では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が約4割とほかより多くなっているものの、該当数が多いほど、「聞いたことはあるが、よく知らない」も多くなっています。

(6) ヤングケアラーの該当状況

問 19 あなたは自分がヤングケアラーにあてはまると思いますか。(○は1つ)



○ヤングケアラーの該当状況は、「あてはまらない」が86.7%を占めています。

○一方で、「あてはまる」は0.7%となっています。

○学年別にみると、「あてはまる」は小学5～6年生では0.8%、中学2～3年生では0.6%となっています。

○なお、「わからない」は小学5～6年生で11.4%、中学2～3年生では7.2%となっています。

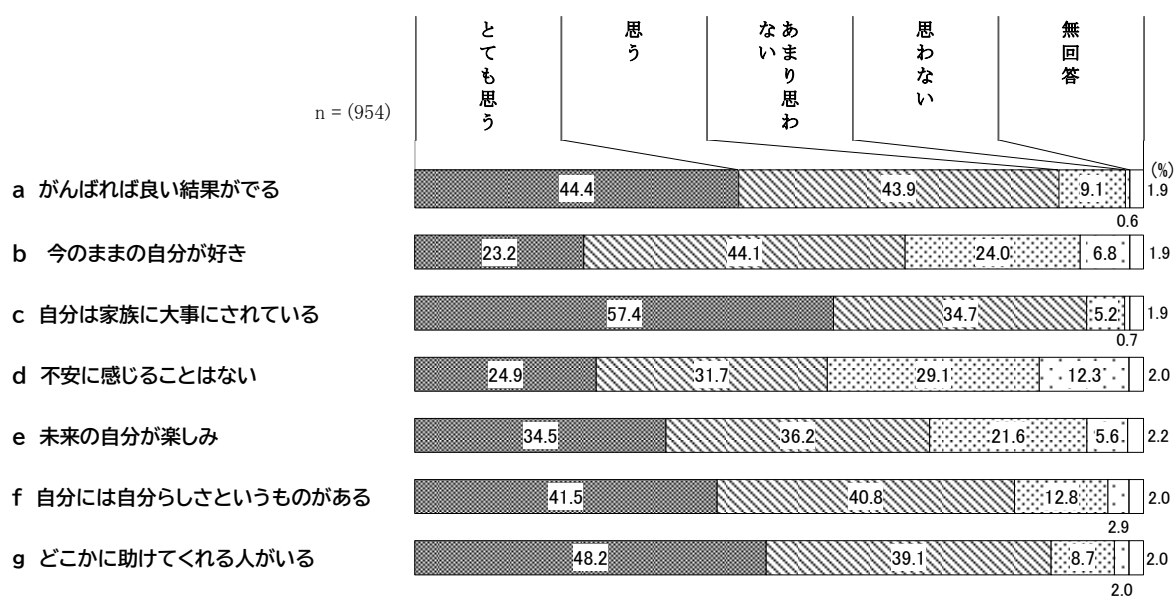
7 将来の夢やイメージについて

(1) 自身の思いや気持ち

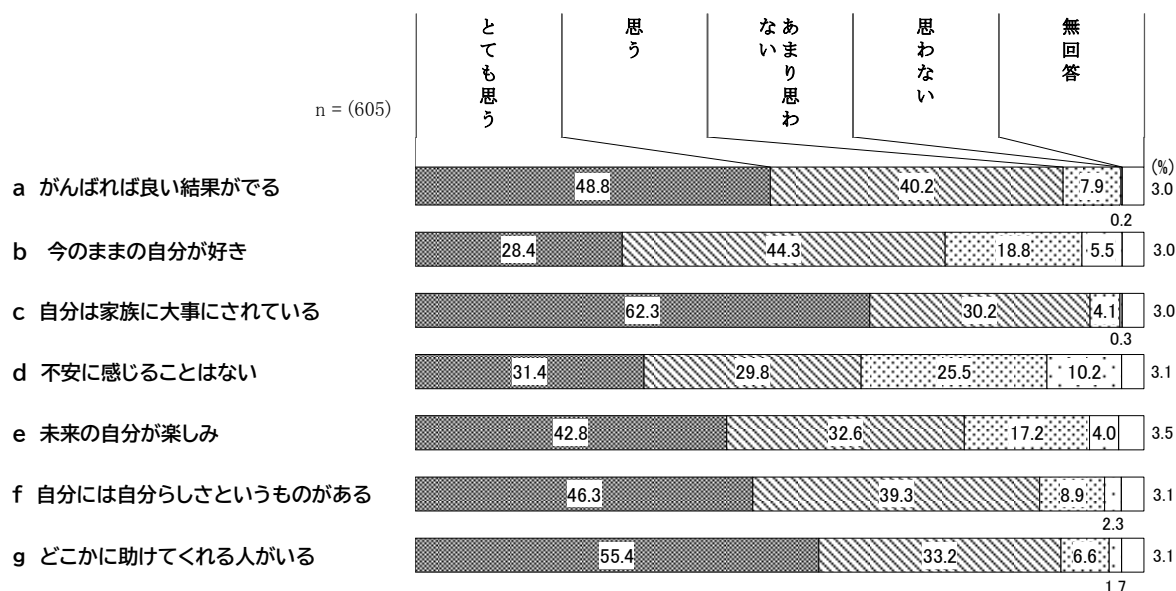
問 20 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。

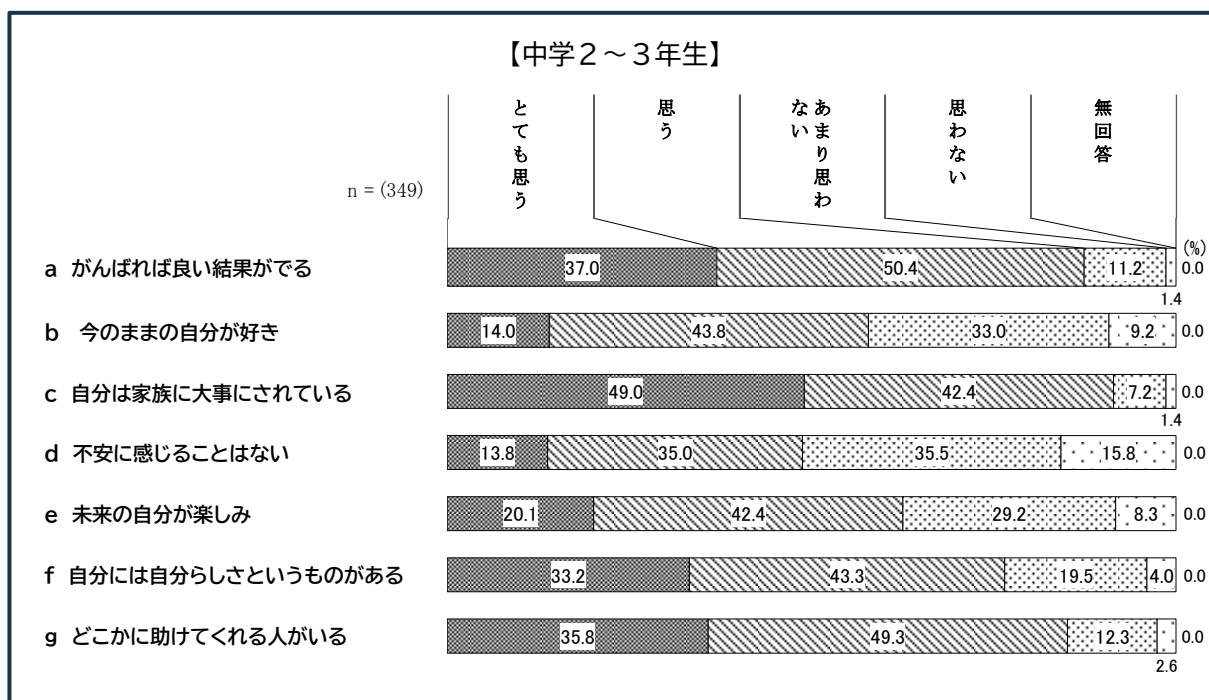
(a～g それぞれについて、○は1つ)

【全体】



【小学5～6年生】





○自身の思いや気持ちについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』が多い項目は《c 自分は家族に大事にされている》で、全体、小学5～6年生、中学2～3年生いずれも約9割、《a がんばれば良い結果がでる》《g どこかに助けしてくれる人がある》でも8割台となっています。また、全体、小学5～6年生では、《f 自分には自分らしさというものがある》も約8割となっています。

○一方で、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が多いのは、《b 今のままの自分が好き》で、全体で30.8%、小学5～6年生で24.3%、中学2～3年生で42.2%となっており、また、《d 不安に感じることはない》では、全体で41.4%、小学5～6年生で35.7%、中学2～3年生では51.3%となっています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

		《a がんばれば 良い結果がでる》			《b 今のままの 自分が好き》			《c 自分は家族に 大事にされている》			《d 不安に感じる ことはない》			
上段：件数 下段：%		調 査 数	思 う	い 思 わ な	無 回 答	思 う	い 思 わ な	無 回 答	思 う	い 思 わ な	無 回 答	思 う	い 思 わ な	無 回 答
全 体		954 100.0	843 88.3	93 9.7	18 1.9	642 67.3	294 30.8	18 1.9	879 92.1	57 5.9	18 1.9	540 56.6	395 41.4	19 2.0
性 別	男性	473 100.0	426 90.1	38 8.0	9 1.9	340 71.9	124 26.2	9 1.9	436 92.2	28 5.9	9 1.9	285 60.2	178 37.6	10 2.1
	女性	469 100.0	409 87.2	52 11.0	8 1.7	298 63.6	163 34.8	8 1.7	436 93.0	25 5.3	8 1.7	252 53.8	209 44.6	8 1.7
該 当 数 別	0 個	379 100.0	342 90.3	31 8.2	6 1.6	291 76.8	82 21.6	6 1.6	356 94.0	17 4.5	6 1.6	245 64.6	127 33.5	7 1.8
	1 ～ 2 個	430 100.0	381 88.6	42 9.8	7 1.6	278 64.7	145 33.7	7 1.6	399 92.8	24 5.6	7 1.6	233 54.2	190 44.2	7 1.6
	3 ～ 4 個	92 100.0	77 83.7	13 14.2	2 2.2	44 47.9	46 50.0	2 2.2	80 86.9	10 10.9	2 2.2	31 33.7	59 64.1	2 2.2
	5 個以上	16 100.0	12 75.1	4 25.1	－	2 12.5	14 87.6	－	10 62.5	6 37.5	－	6 37.5	10 62.6	－

		《e 未来の自分が 楽しみ》			《f 自分には自分らし さというものがある》			《g どこかに助けて くれる人がいる》						
上段：件数 下段：%		調 査 数	思 う	い 思 わ な	無 回 答	思 う	い 思 わ な	無 回 答	思 う	い 思 わ な	無 回 答			
全 体		954 100.0	674 70.7	259 27.2	21 2.2	785 82.3	150 15.7	19 2.0	833 87.3	102 10.7	19 2.0			
性 別	男性	473 100.0	348 73.6	116 24.5	9 1.9	396 83.7	67 14.1	10 2.1	420 88.8	43 9.1	10 2.1			
	女性	469 100.0	321 68.4	137 29.2	11 2.3	384 81.9	77 16.4	8 1.7	405 86.3	56 11.9	8 1.7			
該 当 数 別	0 個	379 100.0	296 78.1	76 20.1	7 1.8	331 87.3	41 10.8	7 1.8	339 89.4	33 8.7	7 1.8			
	1 ～ 2 個	430 100.0	300 69.7	123 28.6	7 1.6	354 82.3	69 16.1	7 1.6	386 89.7	37 8.6	7 1.6			
	3 ～ 4 個	92 100.0	45 49.0	43 46.7	4 4.3	63 68.4	27 29.3	2 2.2	72 78.3	18 19.5	2 2.2			
	5 個以上	16 100.0	6 37.6	10 62.6	－	7 43.8	9 56.3	－	6 37.5	10 62.6	－			

○性別にみると、『思う』が多いのは、男性女性ともに《a がんばれば良い結果がでる》《c 自分は家族に大事にされている》《g どこかに助けてくれる人がいる》で9割前後を占め、また、《f 自分には自分らしさというものがある》でも約8割となっています。

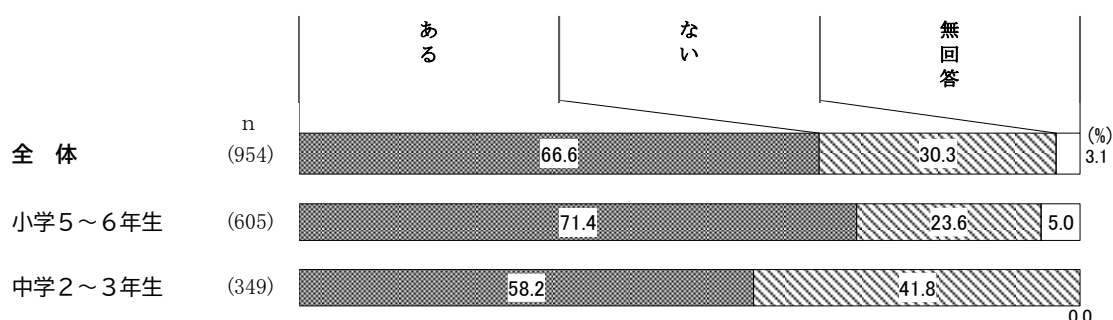
○一方で、『思わない』が多いのは、《b 今のままの自分が好き》では、女性が34.8%と男性より8.6ポイントより多く、《d 不安に感じることはない》では男性女性ともに4割前後となっています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、『思う』が多いのは、0～2個で《a がんばれば良い結果がでる》《c 自分は家族に大事にされている》《g どこかに助けてくれる人がいる》が9割前後を占めています。

○一方で、該当数が少ないほど、いずれの項目も『思わない』が多くなり、《b 今のままの自分が好き》では3個以上で5割以上、《d 不安に感じることはない》では6割以上となっており、また、5個以上では、《e 未来の自分が楽しみ》《g どこかに助けてくれる人がいる》でも6割以上となっています。

(2) 将来の夢の有無

問 21 将来の夢はありますか。(○は1つ)



○将来の夢の有無は、「ある」は 66.6%にとどまり、「ない」が 30.3%となっています。

○学年別にみると、「ある」は小学5～6年生では 71.4%と、中学2～3年生を 13.2 ポイント上回っています。

○一方で、中学2～3年生では、「ない」が 41.8%となっています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：%		調査数	ある	ない	無回答
全 体	件数	954	635	289	30
	%	100.0	66.6	30.3	3.1
性別	男性	473	301	157	15
		100.0	63.6	33.2	3.2
性別	女性	469	329	126	14
		100.0	70.1	26.9	3.0
該当数別	0 個	379	254	114	11
		100.0	67.0	30.1	2.9
	1～2 個	430	292	126	12
		100.0	67.9	29.3	2.8
	3～4 個	92	53	35	4
		100.0	57.6	38.0	4.3
	5 個以上	16	10	6	-
		100.0	62.5	37.5	-

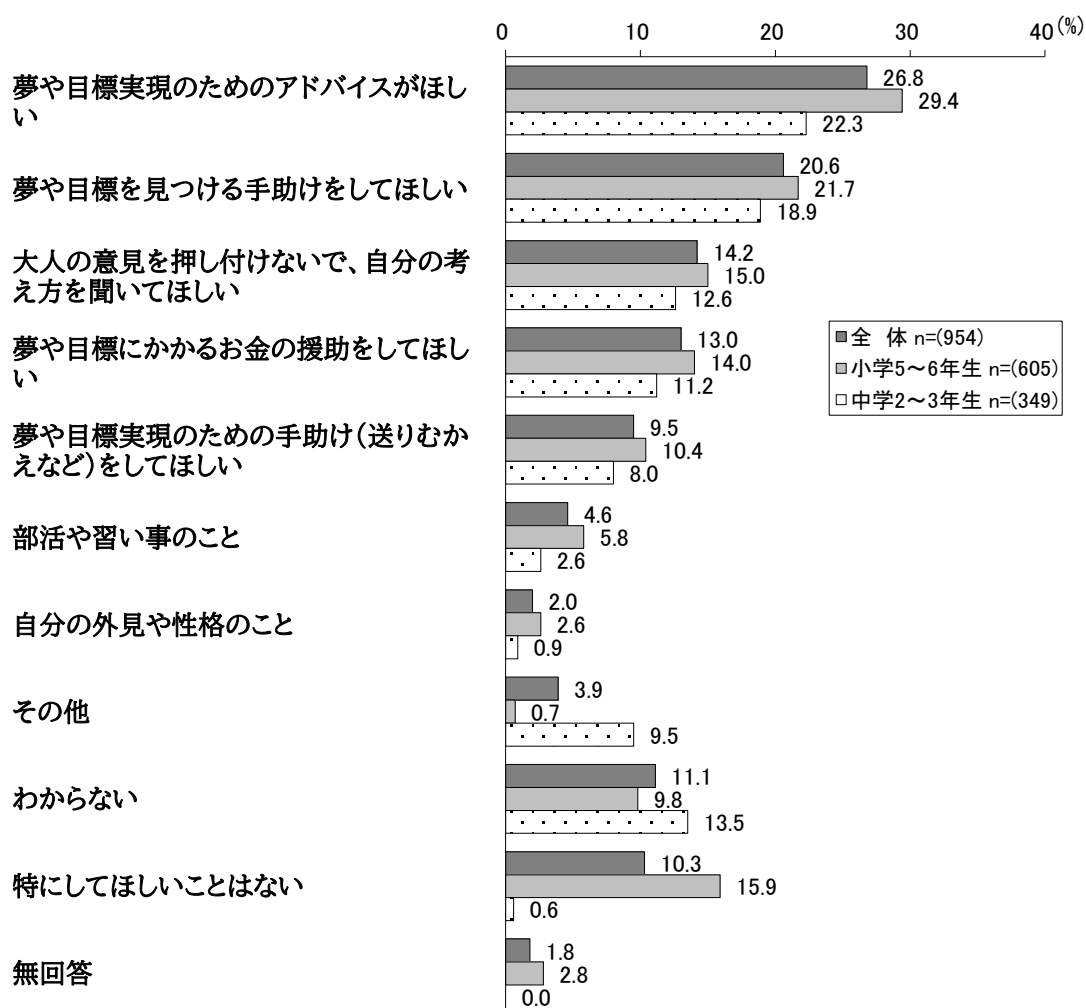
○性別にみると、女性では、「ある」が 70.1%と、男性を 6.5 ポイント上回っていますが、男性では、「ない」が 33.2%と、女性を 6.3 ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、1～2 個では、「ある」が約 7 割とほかより多くなっています。

○一方で、3 個以上では、「ない」が約 4 割とほかより多くなっています。

(3) 将来の夢や目標をかなえるため、大人に一番してほしいこと

問 22 将来の夢や目標をかなえるために、周りの大人に一番してほしいことはなんですか。
(○は1つ)



※1つ以上の回答者が多いため、複数回答として集計している。

○将来の夢や目標をかなえるため、大人に一番してほしいことは、「夢や目標実現のためのアドバイスがほしい」が26.8%と最も多く、次いで「夢や目標を見つける手助けをしてほしい」(20.6%)、「大人の意見を押し付けずに、自分の考え方を聞いてほしい」(14.2%)、「夢や目標にかかるお金の援助をしてほしい」(13.0%) などとなっています。

○一方、「わからない」は11.1%、「特にしてほしいことはない」は10.3%となっています。

○学年別にみると、小学5～6年生は中学2～3年生より多い傾向となっており、「夢や目標実現のためのアドバイスがほしい」が29.4%と、中学2～3年生を7.1ポイント上回っている一方で、「特にしてほしいことはない」も15.9%と、中学2～3年生を15.3ポイント上回っています。

【性別・不規則な生活や経済的困難の該当数別】

上段：件数 下段：％		調査数	夢や目標を 見つけて ほしい	夢や目標 が実現 したい ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため	夢や目標 を達成 する ため
全 体		954 100.0	197 20.6	256 26.8	124 13.0	91 9.5	135 14.2	44 4.6	19 2.0	37 3.9	106 11.1	98 10.3	17 1.8
性別	男性	473 100.0	109 23.0	133 28.1	52 11.0	45 9.5	40 8.5	19 4.0	5 1.1	10 2.1	50 10.6	59 12.5	9 1.9
	女性	469 100.0	88 18.8	123 26.2	71 15.1	46 9.8	88 18.8	25 5.3	13 2.8	27 5.8	55 11.7	37 7.9	7 1.5
該当数別	0 個	379 100.0	78 20.6	99 26.1	39 10.3	39 10.3	48 12.7	19 5.0	5 1.3	7 1.8	43 11.3	53 14.0	5 1.3
	1 ～ 2 個	430 100.0	92 21.4	120 27.9	63 14.7	41 9.5	60 14.0	16 3.7	10 2.3	23 5.3	47 10.9	35 8.1	6 1.4
	3 ～ 4 個	92 100.0	17 18.5	23 25.0	12 13.0	8 8.7	18 19.6	5 5.4	3 3.3	4 4.3	13 14.1	3 3.3	2 2.2
	5 個以上	16 100.0	— —	3 18.8	4 25.0	1 6.3	5 31.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3	— —	— —

○性別にみると、女性では、「大人の意見を押し付けしないで、自分の考え方を聞いてほしい」が18.8%と、男性を10.3ポイント上回っています。

○不規則な生活や経済的困難の該当数別にみると、1～4個では、「夢や目標実現のためのアドバイスがほしい」が2割半ばと最も多くなっています。

○該当数が多いほど、「大人の意見を押し付けしないで、自分の考え方を聞いてほしい」は多くなり、5個以上で31.3%となっています。

第3章 自由意見

1 自由意見件数

問 23 子どもが過ごしやすい、暮らしやすいまちにするために、こうすればよいと思うことがあれば自由に書いてください。

アンケートの最後の設問に、子どもが過ごしやすい、暮らしたいまちにするための意見をお聞きしたところ、205人の方から、延べ267件の意見が得られました。

意見内容を項目ごとに分類化し、その項目別の件数は以下のとおりです。

【分類項目別件数】

順位	分 類 項 目	意見数
1	商業施設等の整備や地域環境、生活環境について	60 件
2	公園等、遊び場について	45 件
3	自分の居場所について	42 件
4	家族や家庭、大人について	26 件
5	学校や勉強について	25 件
6	相談先について	22 件
7	行政について	21 件
8	いじめや虐待について	8 件
9	その他	18 件

※複数意見があるため、意見数を足し合わせると、回答者数を超えます。

2 意見内容（抜粋）

（1）商業施設等の整備や地域環境、生活環境について

- 横断歩道がないところは危ないのでもっと設置して欲しい。自転車専用の道を作って欲しい。校庭を広くして欲しい。（小学6年生）
- 大人が考えている事を押し付けるだけでなく、子ども自身の考えを聞いて、一緒に考えてくれる場所がある地域。そして、みんなが笑顔で暮らせる、笑顔が絶えない地域だと良いと思います。（中学3年生）
- 子ども達が過ごしやすくするには、大人の人と子ども達がコミュニケーションがとれるような場所やイベントなどを作るといいと思います。なぜなら、年齢も離れているし、お互いに好きなことや嫌いなことなど色々と話しているうちに、もうコミュニケーションがとれているからです。（小学6年生）

- 放課後に子ども達が集り、勉強できる場所が欲しい。学童とは違う、子ども達が自由に自分の意志でつどえる場所。スクールバスを全地域で運行してほしい。岩代地区から二本松市内に向かうバスや地域を越えて運行してほしい。(小学6年生)
- 学校の友達だけでなく、もっと地域の人とコミュニケーションが取れる場所が欲しい。(中学3年生)

(2) 自分の(こどもの)居場所について

- いつでも行っていい、落ち着く場所。(小学6年生)
- 放課後でも無料で勉強が出来る場所。なぜなら、もし自分が家に居場所が無い場合でも、そこでは勉強をしたいという人同志が集まっているから。楽しく勉強も出来るし、勉強で頭が良くなって、お互いの仲がより一層深められると思うから。(小学5年生)
- 私の同世代の子たちと勉強したり、遊んだりできる所を公民館だけではなく、また別の場所に公民館のような所を作ってほしいです。(小学6年生)
- こども食堂的な、みんなが集まれる場所があったら良いと思う。(中学2年生)
- 自分らしくいれるような場所を作る。(小学6年生)

(3) 学校や勉強について

- いろいろなイベントなどを聞いて、他の学校の人ともふれあいたい。(小学5年生)
- 福島市のこむこむのような催し物を二本松でもやって欲しいです。駅前の整備(道路、お店)をして欲しい。安達太良小学校のプラネタリウムを活用して欲しい。学校のスキー教室が少ないので増やして欲しい。(小学5年生)
- 放課後、親を待っているまで勉強ができる施設があればいい。(中学2年生)
- 給食のお金が掛からずにたくさん食べたい。学校の放課後に分からない教科を教えてもらえる時間が欲しい。休んでしまった時、オンラインで自由に勉強させて欲しい。(小学6年生)

(4) 公園等、遊び場について

- ボール遊びが出来る公園など、学校などは駐車場に車が多くあり、野球、サッカーなどしているとボールが当たってしまい、トラブルの原因になる。又、バスケットボールなどをする所が体育館しかない。駐車場を速くに作るか、ボールが飛んでいかないようにしてほしい。体を使う所がないと成長にもかかわり、ゲームやSNS等ばかりするようになってしまうと思う。低学年、高学年で分けるとさらに良いと思う。(小学5年生)
- 町の中に公園を作り、みんなが楽しめるように遊具をいっぱい設置する。土地をつくり新しいお店を作る。土地をつくり、家をその土地に建てられるようにする。色々な学校の人達と集まったり、同じ学校の人達と集まって、オンラインゲームや相談をいつでもできる男女交流センターの子どもバージョンを作ると良いと思う。(小学6年生)

- 子どもだけで自由にあそべる公園が欲しい。遊具やサッカーゴール、家の近くに！（小学6年生）
- 公園を作る理由は、ここの地域には遊具がない公園はあるけど、遊具がある公園はありません。そして公園は、いろんな人と関わるができる。家族となにかあったときやイライラしているときに、公園を歩くとリフレッシュすることができて、子どもが過ごしやすくなると思います。あと、最近の子どもは運動力が低いといわれていて、公園で運動して学校以外でも楽しく運動することができると思いました。もう一つは図書館です。理由は公園と同じで、少し車で移動したら図書館にいけますが、やっぱり歩いていくことはむずかしいと思います。本を読むと読解力が上がり、問9でもある理想に近づけるとと思います。また、本で心を落ち着けるができるので、私は図書館があるといいなと思いました。（小学6年生）

（5）相談先について

- 子ども達がふれあえる場所があれば友達もできるし、相談したいとき、相談できる。（小学5年生）
- 子どもが思っていることを言える人、場所などを作る。（中学2年生）
- 相談できるところが欲しい。（小学6年生）

（6）いじめや虐待について

- いじめがなく、誰もが楽しい生活を送れる生活。（中学2年生）
- 虐待、いじめ等はしない、誰にでも挨拶する、マナーを守る。（小学5年生）
- 学校や身の周りで、いじめがないようにして欲しいです。（中学2年生）
- 子どもとかの差別とかをなくして欲しい。（小学6年生）

（7）家族や家庭、大人について

- 子どもの良い所を伸ばしてくれる大人が、増えてくれると良いです。（小学6年生）
- 親同士の喧嘩や、誰かの悪口を叩いたりしない人たちが増えれば、子どもにとってかなり過ごしやすい。（小学5年生）
- 子どもが過ごしやすくするためには、大人の声かけが大切だと思う。大人の人が「不安に思っていることない？」などの声かけを優しくすればいい。いつか子どもが暮らしやすい町になりますように。（小学6年生）
- 「したい」と思ったことを躊躇なく言えて、実現のために見守ったり手助けしてくれる人が増えてくれればいい。（中学2年生）

(8) 行政について

- みんなが自由に暮らせる。外国の方や障害を持った人、高齢者の人を中心にして、バスや電車の数をちょっとでいいから、増える時でいいから、本数を増やして欲しい。(小学6年生)
- 子どもの意見をちゃんと大人が聞いて欲しい。大人の意見だけで何でも解決しないで欲しい。しっかり聞いてから、判断をしてほしい。先生とか真っ先に怒るんじゃなくて事情を聞くのが大事だと思う。ヤングケアラーとかの子どもに市で援助とかをして、未来があることも達に自由な生活や心を傷つけさせるようなことをしない方がいい。しっかりと学校に通わせて、市でお金の援助などをする。やらなくてもいい行事などを止めて、そのお金などをヤングケアラーの子ども達に援助する。(小学6年生)
- 障害や病気を患ってる人や幼い子の世話を無くすために、お金がなくても保育園や幼稚園や介護施設や病院などに、無料で提供してあげた方がいいかなと思います。(中学2年生)
- 子どもがいる家庭には、もっとお金などの経済支援をするべきだと思う。(中学3年生)

(9) その他

- 夜間、休日に子どもの体調が悪くなった時、市内でみてもらえる病院がありませんでした。大人は診察できるが、子どもは担当外なので出来ないとのことでした。夜間や休日でも、子どもが急病の際診察して頂ける病院があれば大変有難いと思います。(中学3年生)
- 子ども達のために使う募金があればいい。(小学5年生)
- みんなが支え合うこと。(中学2年生)
- 幼稚園でお世話をしたり、考えはできるので呼びかけとかポスターを書くとかいろいろなことなどはやってみる。(小学6年生)

第4章 資料

1 調査票（小学5～6年生）

※中学2～3年生は、インターネットにて回答のため、調査票（紙）はなし（学年以外の調査項目は同じ）

二本松市 子どもの生活アンケート
(小学5・6年生の方向け)

■ ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、アンケートを受け取ったあなた自身がお答えください。安心して答えられるよう、ご家族や学校の先生には見せないでください。

2. 質問文をよく読み、あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。

3. 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いものに○をつけてください。

4. テストではありませんので、思ったとおりに答えてください（正解や間違いはありません）。

5. ご記入いただいたアンケートは、同封していた提出用封筒に入れ、封をしてください。その後、令和6年5月15日（水）までに、担任の先生に提出してください。

6. アンケートや封筒には、名前や住所を記入する必要はありません。

回収期限：5月15日（水）まで

1 あなたのことに、教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）
1. 男 2. 女 3. その他・答えたくない

問2 あなたの学年についてお答えください。（○は1つ）
1. 小学5年生 2. 小学6年生

問3 お住まいの地区はどこですか。（あてはまる番号1つに○）
二本松地域 1. 二本松 2. 塩沢 3. 岳下 4. 杉田 5. 石井 6. 大平
安達地域 7. 油井 8. 栄川 9. 上川崎 10. 下川崎
岩代地域 11. 小浜 12. 新殿 13. 旭
東和地域 14. 針道 15. 木幡 16. 太田 17. 戸沢

問4 あなたはだれといっしょに住んでいますか。あてはまる人すべてを選んでください。
※里親や児童ようご施設などでくらしている方は、「7. その他」を選んでください。
（あてはまるものすべてに○）
1. 父親 2. 母親
3. きょうだい 4. 祖父
5. 祖母 6. その他の親せき
7. その他（ ）

【調査実施者】
二本松市 保健福祉部 子育て支援課 子育て支援係 電話：0243-55-5094
※この調査は、株式会社サードパーティセンターに委託して実施しています。

【アンケートの問い合わせ】
株式会社サードパーティセンター東北事務所
電話：022-200-7077 受付時間：平日 10 時～17 時 ※12 時～13 時を除く

51

2 ふだんの生活について、教えてください。

問5 あなたは、学校が終わった後や休日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 自分の部屋 | 2. 自分の部屋 (自分の部屋を除く) |
| 3. 友だちの家 | 4. 塾 や習い事の教室 |
| 5. 部活動 | 6. 学校 (部活動を除く) |
| 7. 児童館・児童センター | 8. 放課後等サービス |
| 9. 公共の建物 (市民センター・図書館など) | 10. 公園や広場 |
| 11. 飲食店 (カフェやファストフード店など) | 12. 買い物をする施設 (ショッピングセンターや本屋など) |
| 13. お金をはらって遊ぶ施設 (インターネットカフェ・カラオケ・ゲームセンターなど) | 14. インターネット・SNS・オンラインゲーム上 |
| 15. その他 () | 16. わからない |
| 17. 居心地が良いと感じる居場所はない | |

問6 あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 一人で自由に過ごせる場所 | 2. 友だち、仲間と過ごせる場所 |
| 3. 学校以外で同世代の人と出会える場所 | 4. ちがう世代の人と交流できる場所 |
| 5. 自主学習ができる場所 | 6. 勉強を教えてくれる人がいる場所 |
| 7. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所 | 8. 仲間と共通の目標のため活動できる場所 |
| 9. 問題や悩みを相談できる場所 | 10. その他 () |
| 11. わからない | 12. 今のままで満足している |

3 あなたの勉強や成績のことについて、教えてください。

問7 あなたは、学校の授業 がわからないことがありますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1. いつもわかる |
| 2. だいたいわかる |
| 3. 教科によってはわからないことがある |
| 4. わからないことが多い |
| 5. ほとんどわからない |

問8 あなたは、ふだん学校の授業 以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 自分で勉強する | 2. 塾 で勉強する |
| 3. 学校の補習 を受ける | 4. 家庭 教師 に教えてもらう |
| 5. 地域の人が行う無料 の勉強会に参加する | 7. 友達 と勉強する |
| 6. 家の人に教えてもらう | 9. 学校の授業 以外で勉強はしない |
| 8. その他 () | |

4 あなたの進学への考えについて、教えてください。

問9 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。理想とするものと現実的だと思うもの、それぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

- | 【理想】 | 【現実】 |
|----------------|----------------|
| 1. 中学まで | 1. 中学まで |
| 2. 高校まで | 2. 高校まで |
| 3. 短期大学・専門学校まで | 3. 短期大学・専門学校まで |
| 4. 大学またはそれ以上 | 4. 大学またはそれ以上 |
| 5. まだわからない | 5. まだわからない |

【問9で「理想」と「現実」が異なる方（異なる番号を回答した方）のみ】
問10 その理由を答えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

5 あなたの普段の生活状況について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）
問11 いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。

1. 勉強のこと
2. 進路や就職のこと
3. 家族との関係のこと
4. 友達や仲間のこと
5. 学校や先生のこと
6. 部活や習い事のこと
7. 自分の外見や性格のこと
8. 自分の将来のこと
9. お金のこと
10. 健康のこと
11. その他（ ）
12. 悩みや困りごとはない

問12 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

1. 親
2. ぎょうだい
3. 祖父母など
4. 学校の先生
5. 学校の友達
6. 学校外の友達
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8. その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）
9. ネットで知り合った人
10. だれにも相談できない、相談したくない

問13 普段の生活について、あなたにあてはまるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ふだん（月曜日～金曜日）、寝る時間がバラバラ
2. 夜遅くまで起きている
3. 学校以外で、ごはんを食べない日がある
4. ごはんをひとりで食べることがよくある
5. お風呂に毎日はいってない
6. 歯磨きを毎日してない
7. どこかが痛いときや具合が悪いときでも、薬を飲むことや病院に行くことを我慢する
8. 自分のサイズに合った靴と服を持っていない
9. あつい季節、さむい季節にあった服を持っていない
10. 友達を家に呼ぶのがはざかしい
11. 電気・ガス・水道料金が払えず、とまっていたことがある
12. 文具やノート等、学習に必要なものが買ってもらえない
13. 経済的な理由で習い事や塾に通えない
14. 経済的な理由でお金遣いをもらえない
15. 経済的な理由で、誕生日のお祝い、クリスマスプレゼント、お年玉がもらえない
16. あてはまるものはない

問14 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。（○は1つ）

0：まったく満足していない ←-----→ 10：十分に満足している

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

6 様々な支援の利用状況について、教えてください。

問 15 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、○は1つ)

	利用したことがある	利用したことはない	
		思えば、利用したい	思えば、利用したい
a (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を通すことができる場所	1	2	3 4
b (自分や友人の家以外で) タバコを無料で安く食べることができる場所	1	2	3 4
c 勉強を無料でみることができる場所	1	2	3 4
d (家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1	2	3 4

7 家族のお世話の状況について、教えてください。

問 16 あなたが、高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やお世話をしている家族はいま
すか。(○は1つ)

※ここでのいう「お世話」とは、本来大人が行うような家事(料理や買い物、そうじ、洗濯など)や家族のお世話(見守り、保育所の送り迎え、病院の付き添い、お風呂・トイレの世話など)を、あなたがしていることをいいます。ちよつとしたお手伝いやペットの世話は入りません。

1. お世話をしている人がいる ⇒ 問 17-1 へお進みください。	2. いない ⇒ 問 17-1 へお進みください。
---------------------------------------	------------------------------

問 17-1～問 17-4 は、問 16 で「1. お世話をしている人がいる」に○を付けた方にお聞します。

問 17-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父親	2. 母親
3. きょうだい	4. 祖父
5. 祖母	6. その他 ()

問 17-2 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 料理や買い物、食器洗い	2. 洗濯や掃除、ゴミ捨て
3. きょうだいのめんどろや保育所の おむかえ	4. 病院の付き添いや薬の管理
5. お風呂・トイレの世話	6. 見守りや話し相手になる
7. その他 ()	

問 17-3 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありませんか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校を休んでしまう	2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 宿題などの勉強をする時間がない	4. 眠る時間がたらない
5. 友達と遊ぶことができない	6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない	8. その他 ()

問 17-4 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはあり
ますか。(○は1つ)

1. 相談したことがない ⇒ 問 17-5 へお進みください。	2. ある ⇒ 問 18 へお進みください。
------------------------------------	---------------------------

問 17-5 は、問 17-4 で「1. 相談したことがない」に○を付けた方にお聞します。

問 17-5 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどの悩みではないから	2. 誰に相談するのがよいかわからないから
3. 相談できる人がいないから	4. 家族のことを話したくないから
5. 相談しても何も変わらないから	6. その他 ()

すべての方にお聞きます。

問18 ヤングケアラーという言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が抱うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : izumi Shiga

- 問 19 あなたは自分がヤングケアラーにあてはまると思いますか。(○は1つ)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない

8 将来の夢やイメージについて、教えてください。

問 20 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。

(a~g それぞれについて、○は1つ)

	うしろや聴こ	聴こ	おもりの聴わな	聴わな
a がんばれば、良い結果がでる	1	2	3	4
b 今のままの自分が好き	1	2	3	4
c 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
d 不安に感じることはない	1	2	3	4
e 来業の自分が楽しみ	1	2	3	4
f 自分には自分らしさというものがある	1	2	3	4
g どこかに助けてくれる人がいる	1	2	3	4

問21 しょうらい ゆめ 将来の夢はありますか。(〇は1つ)

- くおいてき
1. ある (具体的に:)
2. ない

問22 将来の夢や目標をかなえるために、周りの大人に一番してほしいことはなんですか。

(○は1つ)

1. 夢や目標ゆめ や めつごうを見つける手助けをしてほしい
2. 夢や目標ゆめ や めつごうの実現のためのアドバイスがほしい
3. 夢や目標ゆめ や めつごうにかかるお金の援助をしてほしい
4. 夢や目標ゆめ や めつごうの実現のための手助け（送りむかえなど）をしてほしい
5. 大人の意見を押し付けおしないで、自分の考え方を聞いてほしい
6. 部活や習い事のこと
7. 自分の外見や性格のこと
8. その他（ ）
9. わからない
10. 特とくにしてほしいことはない

問 23 子どもが過すぎやすい、喜よろこぶらしいまじにするために、こうすればよいと思うことがあれば自由に書いてください。※特になければ記入しなくてもかまいません。

[illegible]

「最後」に

あなたが自身や友達のこと、学校、おうちのことなどについて悩みや心配がある場合は、学校の先生や、スクールソーシャルワーカーの先生に相談してください。

次に書いてある相談先でもお話を聞くことができます。

いじめで困ったり、自分や友達（ともだち）の安全に不安（ふあん）があったりしたら、一人で悩（なや）まず、いつでもすぐ電話で相談できます。

電話:「0120-0-78310」 24時間子供SOSダイヤル

おうちで、いやな思いをしたり、かなしい思いをしているとき

電話：「189」 児童相談所虐待対応ダイヤル
じどうそうだんじょきやくたいおう

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

二本松市
子どもの生活アンケート
調査結果報告書

令和6年9月 発行

福島県 二本松市 子育て支援課
〒964-8601 福島県二本松市金色 403 番地 1
TEL:0243-55-5094 FAX:0243-22-1547
<https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/>